

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月
金沢大学

目 次

資料 1-1	共通教育の科目区分	1
資料 1-2	共通教育科目と専門科目のくさび型モデル図	1
資料 2	共通教育の運営体制	2
資料 3-1	平成 21 年度授業評価アンケート結果	3
資料 3-2	平成 21 年度企業に対するアンケート結果	4
資料 3-3	平成 21 年度卒業生に対するアンケート結果	5
資料 3-4	平成 20 年度教員に対するアンケート結果	6
資料 4-1	創薬科学専攻修了までのスケジュール表	7
資料 4-2	金沢大学大学院改組案	8
資料 4-3	平成 21 年度「大学院再編に関する連絡会」開催状況	8
資料 5	平成 21 年度法務研究科授業評価アンケート用紙	9
資料 6-1	外国人留学生大学院特別選抜「交流促進特別枠」	10
資料 6-2	ベトナム社会主義共和国教育訓練省ベトナム国際教育開発部と 日本国金沢大学との交流プログラムに関する覚書	11
資料 6-3	金沢大学海外事務所等一覧	12
資料 6-4	平成 22 年度自然科学研究科博士前期課程入学者数等	13
資料 6-5	平成 21, 22 年度留学生数	13
資料 7-1	学域共通科目	14
資料 7-2	学類共通科目	14
資料 8-1	平成 21 年度学長裁量人員配置状況	15
資料 8-2	専任教員と準専任教員について	15
資料 8-3	複数の系の教員の連携による学域共通科目	16
資料 9-1	統合認証システムについて	17
資料 9-2	全学ポータル機能イメージ図	17
資料 10-1	平成 21 年度ピア・サポーター体制	18
資料 10-2	「学生サポートガイドブック」編集体制	18
資料 11-1	コミュニケーション・プレイス写真等	19
資料 11-2	ラーニング・コモンズ写真等	19
資料 12-1	金沢大学学生の表彰に関する申合せ	20
資料 12-2	平成 21 年度表彰一覧	20
資料 13-1	金沢大学アカンサス・スカラシップ規程	21
資料 13-2	金沢大学授業料免除等選考基準細則	21
資料 13-3	平成 21 年度授業料免除実施状況	21
資料 13-4	金沢大学外国人留学生規程に関する申合せ	21
資料 14	大学会館内バリアフリー設備整備写真	22
資料 15-1	平成 21 年度就職支援に係る共同学習会開催状況	23
資料 15-2	就職支援室組織図	23
資料 16-1	社会人基礎力アンケート	24
資料 16-2	平成 20, 21 年度就職ガイダンス等実施一覧	25
資料 17	バンドン工科大学との二重学位プログラム実施に関する覚書	26
資料 18-1	金沢大学学生・留学生宿舍整備計画の基本方針	27
資料 18-2	金沢大学学生・留学生宿舍整備事業の公告	27

資料 19	アジア人材育成プロジェクト	28
資料 20	がん研究所の改組案	29
資料 21-1	金沢大学における特任教員制度概要	30
資料 21-2	フロンティアサイエンス機構における特任教員の外部資金獲得 状況一覧	30
資料 21-3	フロンティアサイエンス機構における特任教員の受賞状況一覧	30
資料 22-1	研究紹介データベース	31
資料 22-2	金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム実施状況	31
資料 23-1	がん研究所外部評価実施状況	32
資料 23-2	学際科学実験センター外部評価実施状況	33
資料 23-3	大学教育開発・支援センター外部評価実施状況	34
資料 23-4	フロンティアサイエンス機構アドバイザリーボード委員会実施 状況	35
資料 24-1	平成 21 年度重点戦略経費配分等一覧	36
資料 24-2	平成 21 年度プロジェクト事業支援経費配分一覧	36
資料 25-1	平成 21 年度インセンティブ付与事業費部局配分額一覧	37
資料 25-2	平成 21 年度自然科学研究科予算配分方針等	37
資料 26-1	電子ジャーナル整備状況	38
資料 26-2	学術情報基盤整備計画について	38
資料 27-1	イノベーション創成センターの概要	39
資料 27-2	開発研究促進助成金の概要	40
資料 27-3	パテントセミナー開催案内	40
資料 27-4	発明評価票	41
資料 28	「産学官連携戦略展開事業」概要	41
資料 29-1	金沢市との連携協定の概要	42
資料 29-2	石川県との連携協定の概要	42
資料 29-3	石川県からの寄附講座の概要	42
資料 29-4	石引よろず保健室における取組み	42
資料 30-1	地域連携推進センターの概要	43
資料 30-2	「能登里山マイスター」養成プログラム中間評価結果	44
資料 31-1	平成 20, 21 年度特別展実施状況	45
資料 31-2	「キンストレーキ」特別展示関連記事	45
資料 32	平成 21 年度「いしかわ金沢学」実施内容	46
資料 33-1	平成 21 年度ジョイントクラス開講状況	46
資料 33-2	平成 21 年度「国際交流月間」（5 月）実施状況	46
資料 33-3	交流協定校等への（夏季）語学研修プログラム参加実績	47
資料 34-1	国際協力機構（JICA）から依頼された国際協力事業	48
資料 34-2	二国間事業共同研究	48
資料 34-3	二国間交流事業	48
資料 34-4	アジア・アフリカ学術基盤形成事業	48

資料 1-1 共通教育の科目区分

図3 共通教育の科目区分

カリキュラム刷新後の現行制度 (平成18年度から実施, 平成20年度一部変更)		旧制度													
共通教育 (広義の教養教育)	①全学共通科目	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生が, 大学生生活並びに社会生活を豊かで充実したものとするうえで必要な学習技術や態度・知識・情報処理能力等を修得するための授業科目群 ・教育目的は, 1) 大学教育にスムーズに導き入れる, 2) 大学構成員並びに社会生活者としての自覚を促す, 3) 将来への展望を獲得させる 	<table border="1"> <tr> <td>① 総合科目</td> <td rowspan="2">教養的科目</td> </tr> <tr> <td>② テーマ別科目</td> </tr> <tr> <td>③ 一般科目</td> <td>人間・社会・自然</td> </tr> <tr> <td>④ 言語科目</td> <td>③ 言語科目</td> </tr> <tr> <td>④ 言語科目</td> <td>④ 基礎科目</td> </tr> <tr> <td>専門教育</td> <td>専門科目</td> <td>④ 基礎科目</td> </tr> </table>	① 総合科目	教養的科目	② テーマ別科目	③ 一般科目	人間・社会・自然	④ 言語科目	③ 言語科目	④ 言語科目	④ 基礎科目	専門教育	専門科目	④ 基礎科目
	① 総合科目	教養的科目													
	② テーマ別科目														
	③ 一般科目	人間・社会・自然													
④ 言語科目	③ 言語科目														
④ 言語科目	④ 基礎科目														
専門教育	専門科目	④ 基礎科目													
共通教育	②総合科目・テーマ別科目	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が, 自らの人間的成長や学問的発展に必要な問題意識を獲得し, 深化・拡大させていくための授業科目群 ・総合科目は複数の分野から学際的に1つのテーマにアプローチする ・テーマ別科目は特定の1分野から1つのテーマにアプローチする ・教育目的は, 1) 学問の有効性・発展性の認識を与える, 2) 広い視野と学際的発想の必要性を認識させる, 3) 現代社会を生きるのに必要な問題意識を形成させる, 4) 学生の人生を豊かにする, 5) 本学で学ぶ方向性を指し示す 													
育科目	③一般科目	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が, 各学問領域について, その学問の基本的枠組み, 応用分野との関連性, 学問形成の歴史などについて理解し, 構築された知識体系の基礎的内容を修得する授業科目群 ・教育目的は, 1) 学問上の基礎的知識や思考方法を身につけさせて, 時代の変化に対応できる学問的基盤を形成する, 2) 専門を学ぶことの前提として最低限どのような学問的基盤や教養が必要かを自覚させる, 3) 他分野を学ぶ場合 (副専攻など) の基盤を与える 													
育科目	基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ・理系学生が, 専門教育において必要な力量と, 将来における広い分野への視野拡大の素地を獲得するための自然科学系授業科目群 													
育科目	④言語科目	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が言語についての諸能力を養うための授業科目群 ・教育目的は, 1) 諸言語の習得を通して世界の多様な文化に対する理解を促進し, 「多文化共生」の時代を生きる力を身につけさせる, 2) 専門及び将来の社会生活等で必要となる言語についての諸能力を養成する 													
専門教育	専門科目														

(注) 共通教育科目・専門科目の2つの科目区分にまたがる授業科目を「開放科目」と呼ぶ。これは, 共通教育科目 (または専門科目) のなかで, 内容的に専門科目 (または共通教育科目) として認定できる授業科目のことで, 学生はどちらの授業科目でも履修登録できる。

(出典: 共通教育機構と共通教育科目の担当等に関する教員マニュアル2009)

資料 1-2 共通教育科目と専門科目のくさび型モデル図

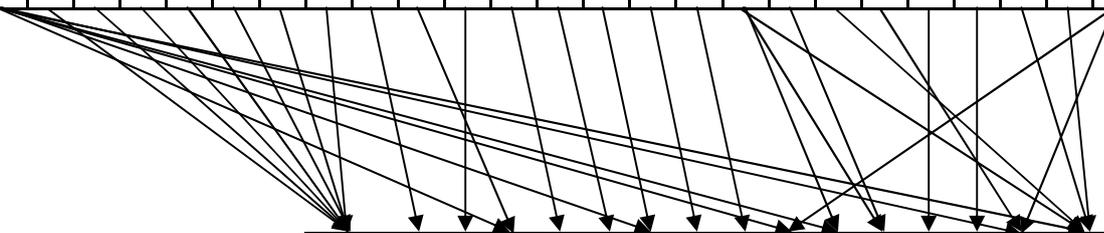
学年	授業科目の配置
4年	共通教育科目 (教職科目)
3年	総合科目
2年	テーマ別科目
1年	一般科目
	言語科目
	基礎科目
	導入科目 (1年前期に配当)

(出典: 独自に作成)

資料2 共通教育の運営体制

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
総合学際	日本語・日本事情	西洋古典語	朝鮮語	中国語	ロシア語	フランス語	ドイツ語	英語	情報処理	技術	地学	生物学	化学	物理学	数学	経済学政治学社会学	法学	地理学	歴史学	人体医療	身体・スポーツ	心理学	哲学倫理	文学芸術	系名

平成十九年度以前



16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号	
初習言語・日本語	英語	科学・技術	情報	地学	生物学	化学	物理学	数学	教育学・芸術学	経済学	法学・政治学	人体医療	身体・スポーツ	文学言語歴史学	人間科学	グループ名	
西洋古典語、日本語日本事情	ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、英語	技術、総合学際（科学史）	情報処理、総合学際（情報授業担当）	地学	生物学	化学、総合学際（環境化学）	物理学	数学	文学芸術（芸術）、総合学際（教育学・家政学）	経済学政治学社会学（経済学）、総合学際（統計学）	法学・経済学政治学社会学（政治学）	人体医療	身体・スポーツ	文学芸術（文学）、歴史学、総合学際（言語学・朝鮮文化）	総合学際（人類学）	哲学倫理、心理学、地理学、経済学政治学社会学（社会学）、	元の系

平成二〇年度以降

環境特設グループ（平成二一年度設置）

グループとは
 ・共通教育機構の運営の基礎となる単位
 ・全学の教員はいずれかのグループに所属し、共通教育の責任を果たす。

（出典：学務課資料を基に作成）

資料3-1 平成21年度授業評価アンケート結果

平成21年度前期 理工学域専門科目 授業評価アンケート結果

理工学域全体

実施科目

数物科学類	9科目	(対象科目13科目)
物質化学類	13科目	(対象科目14科目)
機械工学類	15科目	(対象科目20科目)
電子情報学類	13科目	(対象科目15科目)
環境デザイン学類	11科目	(対象科目14科目)
自然システム学類	19科目	(対象科目23科目)
計	80科目	(対象科目99科目)

履修者及び回答者数

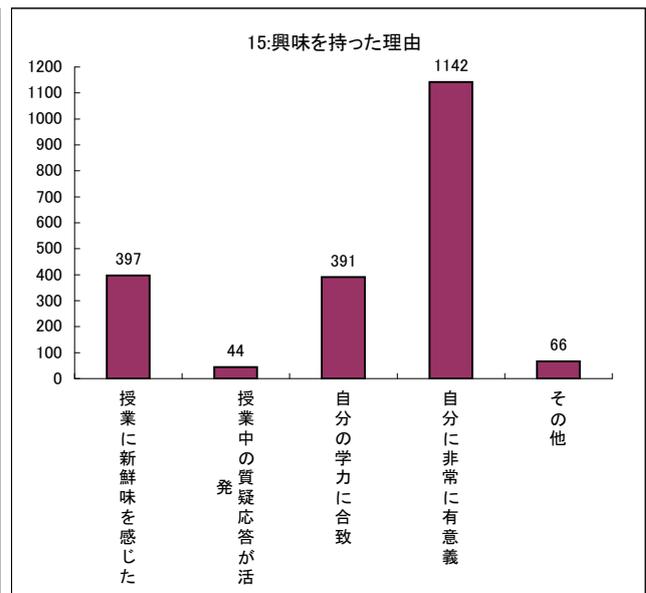
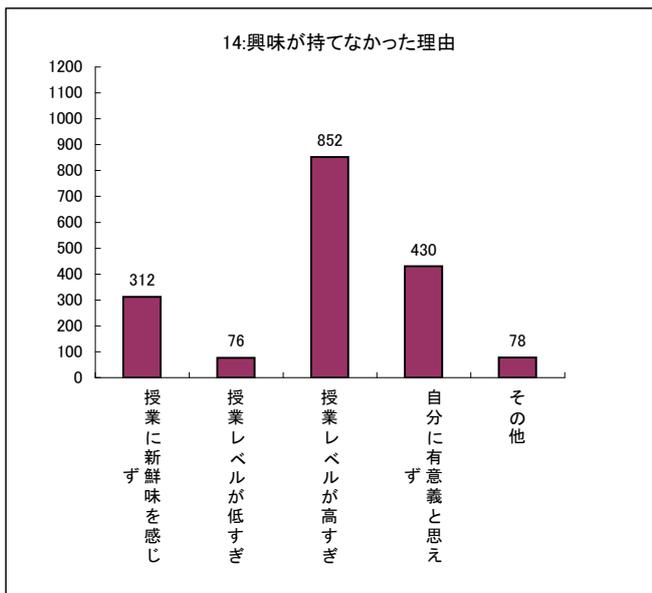
履修者数	4,800名	(実施科目履修者数の総数)
回答者数	3,852名	(実施科目回答者数の総数)

各科目の設問毎の平均値の分布

科目数については、複数クラスで実施した授業科目は各クラスを1科目として集計した。(80科目)

	1-2 ポイント	2-3 ポイント	3-4 ポイント	4-5 ポイント	平均
2:出席状況 (1:ほとんど欠席←→5:皆出席)	0科目	0科目	0科目	80科目	4.48ポイント
3:予習・復習 (1:ほぼゼロ←→5:180分以上)	36科目	39科目	5科目	0科目	2.08ポイント
4:全員の態度 (1:全く良くない←→5:とても良い)	0科目	16科目	63科目	1科目	3.19ポイント
5:シラサの目標・ポイント(1:ほとんど役に立たず←→5:とても役立つ)	0科目	44科目	36科目	0科目	2.96ポイント
6:指示テキスト類 (1:ほとんど活用せず←→5:大いに活用した)	5科目	27科目	46科目	2科目	2.98ポイント
7:教官の声 (1:聞きにくい←→5:聞きやすい)	0科目	12科目	46科目	22科目	3.54ポイント
8:板書・OHP (1:見にくい←→5:見やすい)	0科目	19科目	48科目	13科目	3.36ポイント
9:説明の仕方 (1:理解しにくい←→5:理解しやすい)	0科目	23科目	46科目	11科目	3.12ポイント
10:授業理解度 (1:ほとんど理解できず←→5:とてもよく理解できた)	0科目	28科目	52科目	0科目	3.32ポイント
13:知的興味 (1:全く持てず←→5:とても持てた)	0科目	14科目	64科目	2科目	3.33ポイント

	1	2	3	4	5	計
1:履修理由 1:必修 2:単位が甘いらしい 3:興味 4:自分に有意義 5:自分(の専門上等)に重要	83.1%	0.5%	3.9%	2.3%	10.3%	
14:設問13で(1)~(3)を選んだ理由(複数回答可)	312	76	852	430	78	1748
15:設問13で(4)~(5)を選んだ理由(複数回答可)	397	44	391	1142	66	2040



(出典:金沢大学ホームページ: http://www.s.kanazawa-u.ac.jp/03admissions/rikou_anketo/anketo-H21zen.pdf)

資料 3-2 平成21年度企業に対するアンケート結果

社会人基礎力の12の能力要素に基づく 企業の求める人材像アンケート集計結果

調査主体 学生部就職支援室
集計担当 就職支援室 山本 長船

調査方法 Web画面における設問に対する回答（匿名）

実施日程 平成21年11月24日～12月11日

調査対象 本学に業界企業研究会に参加予定企業
調査対象数：294社

業種・職種指標 業種の別は業界・企業研究会参加企業分類に拠った

アンケート趣旨

各企業の求める能力を把握し、在学生の教育に反映させるべく、経済産業省の定める社会人基礎力※を元に作成した設問へ回答いただくことにより必要な能力要素を抽出する。

※社会人基礎力についての詳細は、経済産業省HP を参照
<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.htm>

回収結果 回収数 : 100 回収率 : 約34%

有効回収数 : 100 有効回収率 : 約34%

回答・集計方法 : 各企業で新卒学生に対して求める能力要素を、36の質問項目について、「1どちらともいえない」－「2もとめられる」－「3強くもとめられる」の3段階で各企業の担当者に評定してもらいました。またそれぞれの回答を「1どちらともいえない」は1ポイント、「2もとめられる」は2ポイント、「3強くもとめられる」は3ポイントとしてそれぞれ関連付けられている12の能力要素に割り振って集計いたしました。

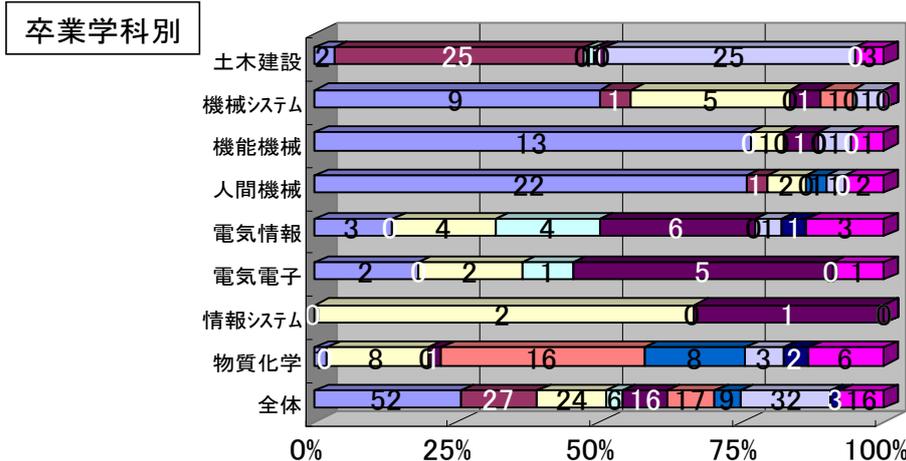
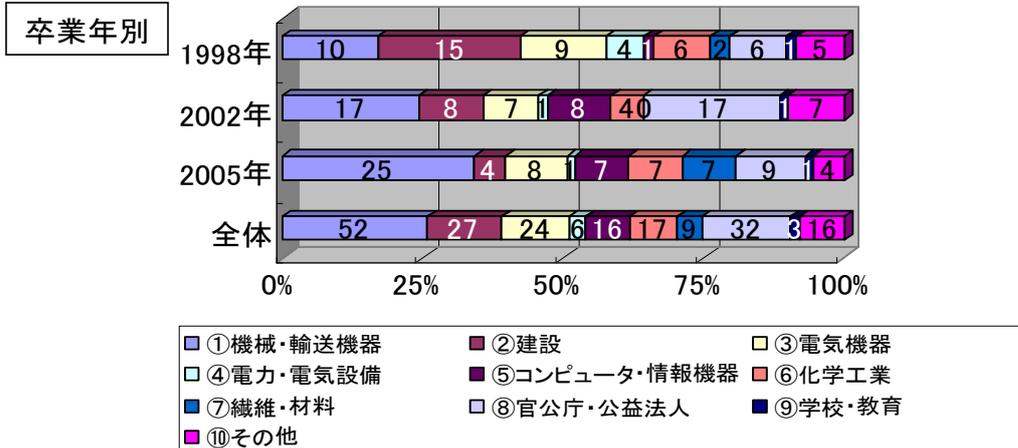
※集計・分析結果については、下記URL参照

(出典：金沢大学ホームページ：<http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/work/motomerujinzaiQ.pdf>)

資料 3-3 平成21年度卒業生に対するアンケート結果

6. アンケートのまとめと分析結果

【問1】あなたが卒業後最も長く所属した勤務先（自営も含む）の業種



図の表示方法について

年別、学科別、業種別、職種別に整理したグラフはすべてパーセント(%)で表示し、グラフ中の数値は回答数を表す。なお、データ数が少ないケースでは、調査年度による変動が大きく、定まった傾向を得られないため、分析結果に対するコメントは控えるようにした。

問1の年別・学科別分析

全体の業種の割合は昨年と大きくは変わっていないが、2005年では①機械・輸送機器の割合が増加している。業種の分布は、昨年までの結果と同様に土木建設工学科では官公庁と建設関係が、機械系では機械関係が圧倒的に多い。また、物質化学工学科では化学工業関係が、電気・情報工学科では電気機器関係、コンピュータ・情報機器関係が多い。卒業生は、学科のミッションに応じた活躍の場を得ている。

(出典：金沢大学工学部第9回卒業生の達成度評価アンケート調査結果報告書，
金沢大学ホームページ：http://www.t.kanazawa-u.ac.jp/engineering/fd_survey/sotugyou/h21/sotu1h21.pdf)

資料 3-4 平成20年度教員に対するアンケート結果

- 学内アンケート結果
- ▶ 2009年度
- 研究成果
- 科学研究費補助金
- 共同研究・委託事業

学内アンケート結果

センターが実施したアンケート調査の公表を含む報告を掲載しています。

- (A) 教員対象
- (B) 学生対象

2009年度

タイトルをクリックすると結果の詳細をご覧いただけます。

対象	タイトル	内容
教員	大学教員を対象とした授業改善の現状に関するケーススタディ	尾関美喜, 山田政寛, 末本哲雄, 青野透, メディア教育研究, 6(2), 14-20 2010年刊行
教員	大学教員を対象とした授業改善の現状と課題に関する調査	山田政寛, 末本哲雄, 青野透, 日本教育工学会研究会 2009年12月19日
教員	第2回教育効果とFDIに関する教員アンケート」集計報告	末本哲雄, 第241回共同学習会 2009年8月3日
教員	授業客観化のためのクリッカー活用	青野透ほか, 大学教育学会第31回大会 2009年6月7日(首都大学東京)
学生	金沢大学1年生の学習意欲と意味ある授業	末本哲雄ほか, 大学教育学会第31回大会 2009年6月7日(首都大学東京)
学生	学士力の育成と獲得に関する学生の意識調査	末本哲雄ほか, 第12回高等教育学会 2009年5月24日(長崎大学)

※集計・分析結果については、下記URLを参照
 (出典：金沢大学ホームページ：http://www.rche-kanazawa-u.jp/resources/)

資料4-1 創薬科学専攻修了までのスケジュール表

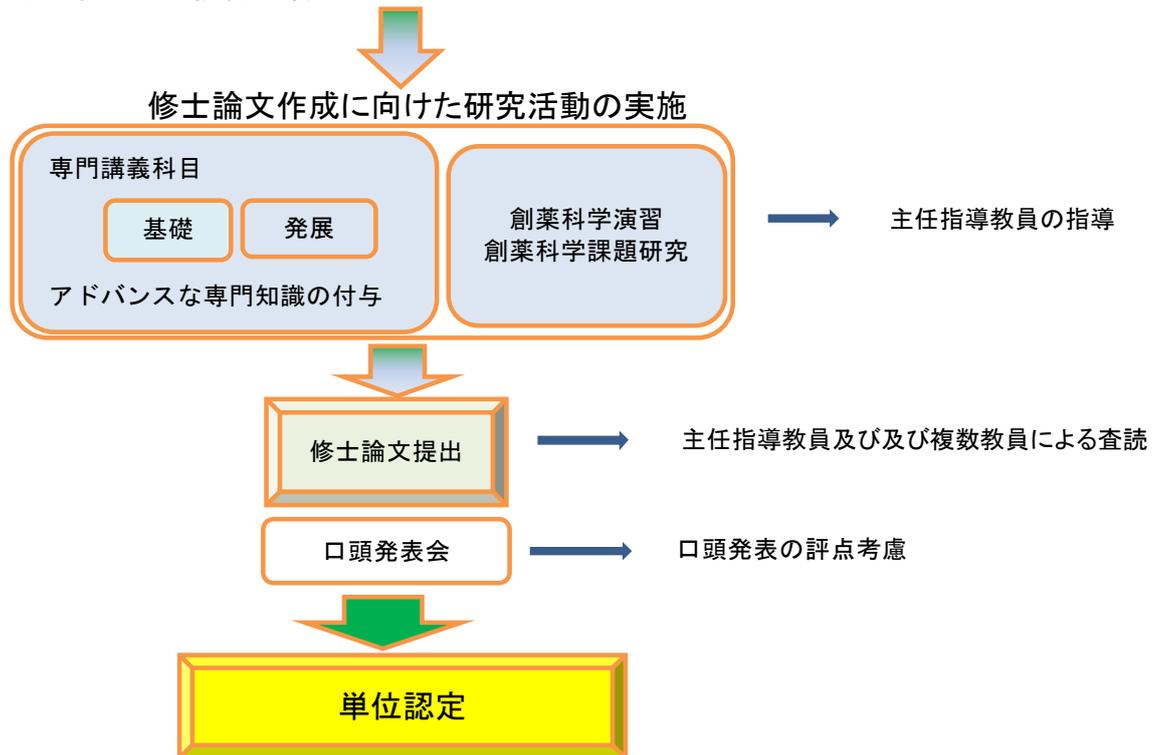
資料5 創薬科学専攻修了までのスケジュール表

前期課程

初年次での教育内容

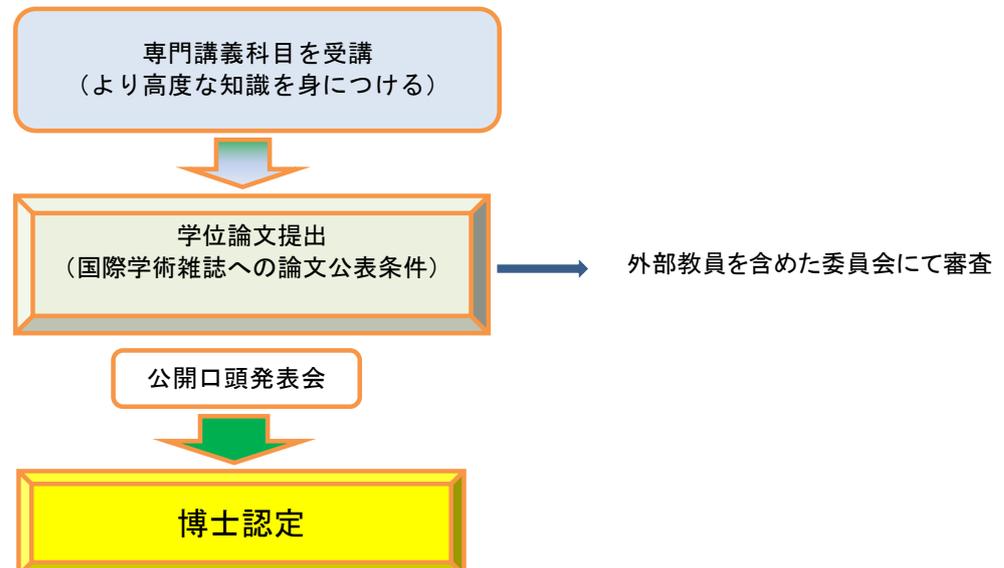


初年次から2年次での教育内容



後期課程

学位論文作成に向けた研究活動の実施

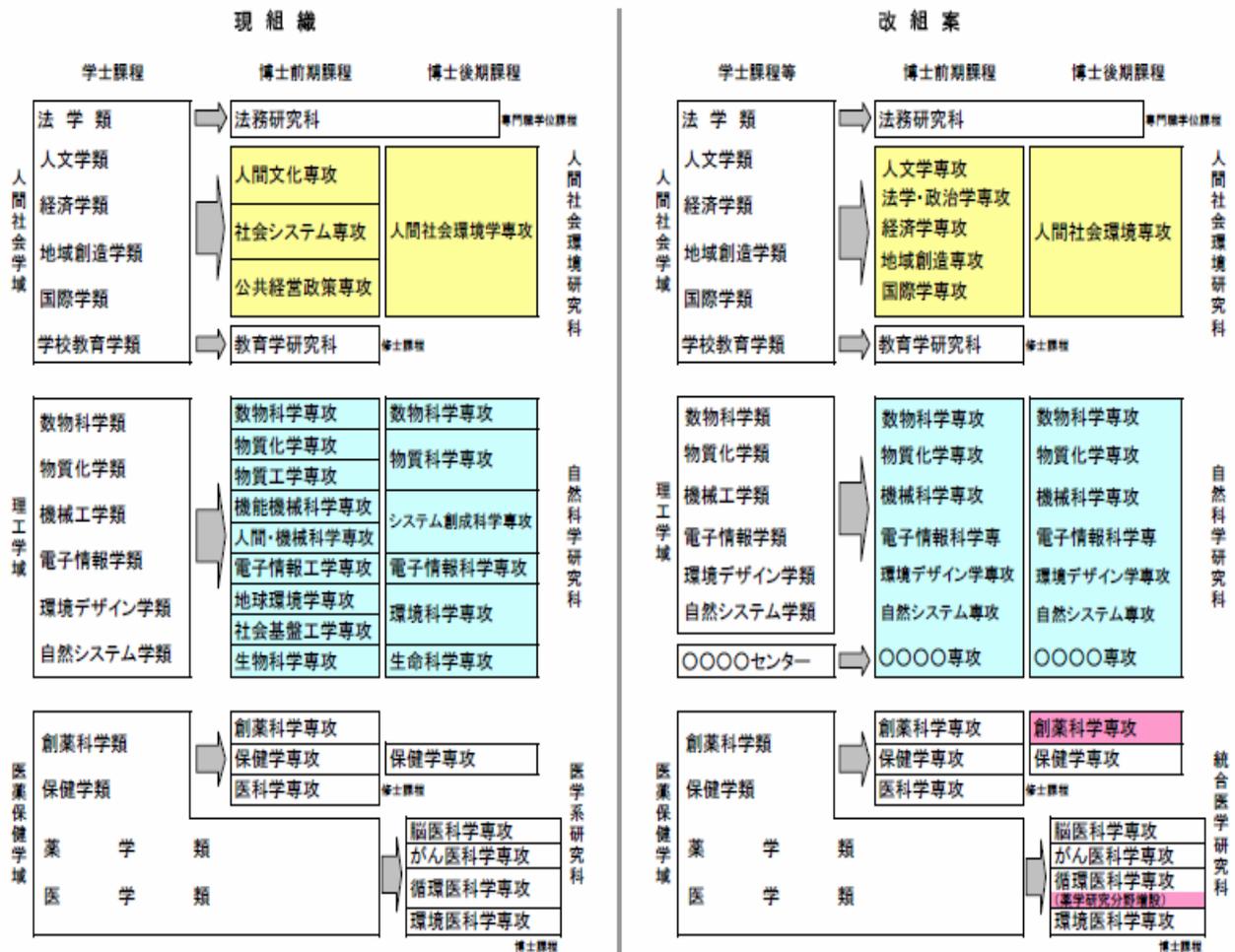


(出典：金沢大学大学院医学系研究科創薬科学専攻設置報告書)

資料4-2 金沢大学大学院改組案

金沢大学大学院改組案について

平成24年4月から



(出典：学務課資料)

資料4-3 平成21年度「大学院再編に関する連絡会」開催状況

回数	開催日	主な審議事項
第1回	21. 9. 29	・大学院改組に関する基本方針について ・改組日程スケジュールについて 等
第2回	21. 10. 30	・人間社会環境研究科改組の概要について ・自然科学研究科改組の概要について 等
第3回	21. 11. 30	・人間社会環境研究科改組の概要について ・自然科学研究科改組の概要について 等
第4回	21. 12. 21	・人間社会環境研究科改組の概要について ・自然科学研究科改組の概要について 等
第5回	22. 2. 5	・人間社会環境研究科改組の概要について ・自然科学研究科改組の概要について ・大学院改革事業について 等
第6回	22. 2. 22	・人間社会環境研究科改組の概要について ・自然科学研究科改組の概要について 等
第7回	22. 3. 10	・アドミッション・ポリシー等作成基準案について 等

(出典：学務課資料を基に作成)

資料5 平成21年度法務研究科授業評価アンケート用紙

授業評価アンケート

前学期の終了時に、授業に対する学生諸君の理解度・満足度を知るためのアンケートを行いたいと思います。これは、授業内容や教授法の改善に役立てる目的で毎学期終了時に実施することになっているものです。皆さんの成績評価とは一切関わりがありませんし、無記名ですので、率直な回答をお願いいたします。記入後、回収担当者に提出してください。回収担当者は、全てのアンケート用紙を回収の上、法務研究科事務室までご提出くださるようお願いいたします。

授業科目名

【質問1】 下記の項目につき、5つの選択肢から1つ選び、末尾の□の中に番号を記入してください。また、項目によっては、理由を書き添えてください。

I あなたの状況についておたずねします

- 1 この授業に対するあなたの出席状況や 1. 悪い 2. あまりよくない 3. 普通 4. よい 5. 非常によい □
受講態度を総合評価すると
- 2 予習を十分にしましたか 1. 全くしなかった 2. あまりしなかった 3. 普通 4. した 5. よくした □
- 3 復習を十分にしましたか 1. 全くしなかった 2. あまりしなかった 3. 普通 4. した 5. よくした □
- 4 授業中、授業に集中していましたか 1. 全くしなかった 2. あまりしなかった 3. 普通 4. 集中 5. 非常に集中 □

II 授業の内容についておたずねします

- 1 授業のレベルはどうでしたか 1. 適当でない 2. あまり適当でない 3. 普通 4. 適当 5. 非常に適当 □
*あまり適当でない、適当でない、を選んだ場合は、その理由を書いてください。
- 2 講義内容が理解で 1. 全く理解できなかった 2. あまり理解できなかった 3. おおむね理解できた □
きましたか 4 よく理解できた 5. 大変良く理解できた
- 3 予習の負担度は適当でしたか 1. 適当でない 2. あまり適当でない 3. 普通 4. 適当 5. 非常に適当 □
*あまり適当でない、適当でない、を選んだ場合は、その理由を書いてください。
- 4 予定通りに講義が進行しましたか 1. 全く予定どおりでない 2. あまり予定どおりでない 3. だいたい予定どおり □
4. 予定どおり 5. 全く予定どおり
- 5 講義後のフォローは適切でしたか 1. 適切でない 2. あまり適切でない 3. 普通 4. 適切 5. 非常に適切 □
(質問への応接など)
- 6 話し方は明瞭でしたか 1. 全く明瞭でない 2. あまり明瞭でない 3. 普通 4. 明瞭 5. 非常に明瞭 □
- 7 教員は重要なことを強調しましたか 1. 全くしなかった 2. あまりしなかった 3. 普通 4. した 5. 十分した □
- 8 教員の授業に対する熱意を感じましたか 1. 全く感じなかった 2. あまり感じなかった 3. 普通 4. 感じた □
5. 大変感じた
- 9 この授業の総合評価は 1. 悪い 2. あまりよくない 3. 普通 4. よい 5. 非常によい □

III 授業の方法についておたずねします

- 1 資料の提供の仕方は適切でしたか 1. 適切でない 2. あまり適切でない 3. 普通 4. 適切 5. 非常に適切 □
*あまり適切でない、適切でない、を選んだ場合は、その理由を書いてください。
- 2 小テストあるいはレポートの 1. 適切でない 2. あまり適切でない 3. 普通 4. 適切 5. 非常に適切 □
出し方や内容は適切でしたか
*あまり適切でない、適切でない、を選んだ場合は、その理由を書いてください。
- 3 授業において教科書・教材は活用されていましたか 1. 全くされていなかった 2. あまりされていなかった □
3. 普通 4. されていた 5. 十分されていた
- 4 「理論と実務の架橋」が意識された授業でしたか 1. 全くされていなかった 2. あまりされていなかった □
3. 普通 4. されていた 5. 十分されていた

【質問1】は以上で終わりです。裏面に続きます。

資料6-1 外国人留学生大学院特別選抜「交流促進特別枠」

- 1 留学生の受入体制**
- 海外で現地試験の実施
 - 成績に応じて授業料等の免除
 - 奨学金の給付
- 卒業成績や研究計画などの書類審査の後、筆記試験及び、金沢大学と現地在タレントネットワーク 余慶システムで結んだ口述試験を実施します。この口述試験では、金沢大学会場より、志望動機、研究計画や専門分野の研究計画を質問し志望学生を選抜します。
- ※選抜方法は、各研究科ごとに異なる場合があります。
- 2 プログラム**
- ◇学位を取得できないプログラム
 - 研究生等 6か月間又は1年間
研究課題に沿って指導教員から指導を受けるものです。大学院入学準備のため、研究生になることを勧められています。ただし、学位は取れません。
 - 金沢大学一般短期留学プログラム 6か月間又は1年間
学域又は研究科で通常開講されている講義を受講するか、又は、大学院で専門分野の研究を行うプログラムです。貴学での専攻分野は問いません。講義は日本語で行われますので、受講するには流暢な日本語能力が必要です。しかし、大学院で専門分野の研究を行う場合は、英語で指導を受けることもできます。
 - センスター特別プログラム 13週間（4月中旬～7月初旬）
このプログラムは、3ヶ月間のコースで、日本語及び日本文化・社会を学ぶものです。ホームステイの他、チューターがつき、生活のサポートもします。
 - ◇学位を取得できるプログラム
 - 大学院学生
 - 修士の学位（1～2年間） 教育学研究科、人間社会環境研究科、自然科学研究科、医学系研究科
 - 博士の学位（2～3年間） 自然科学研究科、人間社会環境研究科、医学系研究科（4年間） 医学系研究科
- 3 申請方法**
- (1) 応募・選抜日程
 - 9月下旬頃 学生募集要項公開、指定校へ送付。
 - (2) 入学時期
 - 2009年10月入学 又は 2010年4月入学
 - (3) 応募資格・条件等
 - ① 金沢大学の指定校に在籍中の学生または卒業（修了）後、原則として2年以内の者
 - ② 卒業成績評定等級が直近の過去2年間で、1.8以上であること



金沢大学外国人留学生大学院特別選抜
「交流促進特別枠」

金沢大学では、大学の一層の国際化を目指して2020年までに留学生を2600人に
する計画を策定し、いろいろ特色ある留学生受入れコースの準備や受入れ特別枠の
実施を開始しました。世界各国から多くの優秀な留学生を招聘し、高度な研究・教
育を通じて、世界の学術発展に寄与できる人材を養成します。



(出典：金沢大学ホームページ) : http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/IRSQ/IRSQ_LEF_J.pdf

資料 6-2 ベトナム社会主義共和国教育訓練省ベトナム国際教育開発部と日本国
金沢大学との交流プログラムに関する覚書

① MEMORANDUM OF UNDERSTANDING ON EXCHANGE PROGRAM

between
Vietnam International Education Development
Ministry of Education and Training,
The Socialist Republic of Vietnam
and
Kanazawa University, Japan

The Vietnam International Education Development of the Ministry of Education and Training, the Socialist Republic of Vietnam and Kanazawa University, Japan in accordance with the principles of equality and mutual benefit and through friendly negotiation, hereby agree to establish a collaborative arrangement to provide high quality research training to qualified undergraduate and graduate students from Vietnamese universities with the aim of developing research collaboration between Kanazawa University and Vietnamese universities.

The Vietnam International Education Development (VIED) of the Ministry of Education and Training (MOET), the Socialist Republic of Vietnam and Kanazawa University, Japan hereby record their understanding as follows to cooperate for the development of training program of Vietnam at Kanazawa University.

The following terms are defined below in this Memorandum.

Parties : VIED of MOET, Vietnam and Kanazawa University, Japan

Transferred students : Academic staff members and students of universities, colleges or researchers in Institutes in Vietnam, nominated as a student by VIED to study at Kanazawa University

1. Requirements for Transferred Students

Applicants for the transferred students shall meet the requirements for the

③ University shall determine which students are accepted for enrollment, based on a written test taken in Vietnam or at Kanazawa University as well as an oral examination by Professors of Kanazawa University, to be carried through the internet or interviews.

5. Academic Record and Award of Degree

- a) Academic performance shall be evaluated according to the rules of Kanazawa University.
- b) Upon completion of the program, the Degree shall be awarded by Kanazawa University to students who have satisfied all requirements of Kanazawa University.

6. Entrance Examination Fee, Admission Fee and Tuition Fee

All students recommended by VIED and accepted by Kanazawa University, are subject to exemption of 50% of the tuition fee and the full amount of the entrance examination fee and the admission fee.

7. Accommodation

Kanazawa University shall assist transferred students in locating housing in a student dormitory or other affordable and safe accommodation.

8. Financial Responsibility

VIED shall support transferred students for their expenses including 50% of the tuition fee, travel expenses, accommodation cost, and health care fees.

Kanazawa University is not responsible for the expenses of transferred students mentioned above and other personal expenses.

Kanazawa University shall consider providing the extra financial support in each academic year given as the separate sheet titled "Additional memorandum for financial support".

9. Termination and/or Extension

- a) This Memorandum shall come into effect on the date when the representatives of the both Parties affix their signatures to this Memorandum and it shall be valid for a period of five years. The validity of this

② transferred students which are shown in the application procedure of each Program in Kanazawa University.

2. Years Required for Completion

Transferred students shall stay at Kanazawa University for the number of years prescribed by the rules of each Program in Kanazawa University.

College of Human and Social Sciences (Bachelor Program : Four-Year Course)

College of Science and Engineering (Bachelor Program : Four-Year Course)

College of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences (Bachelor Program : Four-Year Course, School of Medicine and School of Pharmacy: Bachelor Program : Six-Year Course)

Graduate School of Education (Master's Course : Two-Year Course)

Graduate School of Human and Socio-Environment Studies (Master's Level Section of Integrated Course: Two-Year Course)

Graduate School of Human and Socio-Environment Studies (Doctoral Level Section of Integrated Course: Three-Year Course)

Graduate School of Natural Science and Technology (Master's Level Section of Integrated Course: Two-Year Course)

Graduate School of Natural Science and Technology (Doctoral Level Section of Integrated Course: Three-Year Course)

Graduate School of Medical Science (Master's Course, Integrated Course of Master's Level : Two-Year Course)

Graduate School of Medical Science (Integrated Course of Doctoral Level : Three-Year Course)

Graduate School of Medical Science (Doctoral Course : Four-Year Course)

3. Number of Students

The number of transferred students in this scheme shall be agreed on between the Parties in respective years.

4. Selection and Enrollment

VIED shall select students for the most suitable field of study and request Kanazawa University to accept them as transferred students. Kanazawa

④ Memorandum may be extended after agreement by representatives of both Parties. Such agreement shall be reached not later than six months before the termination of this Memorandum.

b) This Memorandum can be revised or modified at any time within the period by mutual consent. It can be terminated within the period by either party giving six months notice to the other.

For Vietnam International Education
Development of the Ministry of
Education and Training of
the Socialist Republic of Vietnam

For Kanazawa University



Nguyen Xuan Vang
Director General
Vietnam International Education
Development



Shin-ichi Nakamura
President

Date: December 4, 2009

Date: December 4, 2009

資料6-3 金沢大学海外事務所等一覧

①設置済

	既存の事務所	国名	オフィス設置場所	設置時期
1	釜慶大学校	韓国	釜慶大学校海洋共同研究所内	平成19年1月
2	中国科学院大気物理研究所	中国	中国科学院大気物理研究所内	平成19年4月
3	慶北大学校	韓国	慶北大学校内	平成19年12月
4	北京大学	中国	北京大学考古文博学院内	平成20年2月
5	南京大学	中国	南京大学内	平成20年3月
6	蘇州大学	中国	蘇州大学内	平成20年3月
7	三谷産業	ベトナム	三谷産業ハノイ支部内	平成20年8月
8	石川県上海事務所	中国		平成20年8月
9	上海師範大学	中国	上海師範大学人文与伝播学院内	平成20年10月
10	ロシア科学アカデミー極東支部	ロシア	ロシア科学アカデミー 極東支部太平洋海洋研究所内	平成20年11月
11	浙江工業大学	中国	浙江工業大学内	平成21年4月
12	天津市生物医学研究所	中国	天津市生物医学研究所内	平成21年4月
13	バンドン工科大学	インドネシア	バンドン工科大学内	平成21年4月
14	北京師範大学	中国	北京師範大学内	平成21年8月
15	北陸銀行上海駐在員事務所	中国	北陸銀行上海駐在員事務所内	平成21年9月
16	モンクット王工科大学トンブリ校	タイ	モンクット王工科大学内	平成22年2月
17	ケニア中央医学研究所	ケニア	ケニア中央医学研究所 ゲストハウス内	平成22年3月
18	三谷産業	ベトナム	三谷産業ホーチミン支部内	平成22年4月

②設置済（研究拠点）

	平成20年度/21年度設置事務所	国名	オフィス設置場所	設置時期
1	ハノイ医科大学 (ハノイ医薬保健学域連絡事務所)	ベトナム	ハノイ医科大学内	平成22年2月

③設置予定

	今後設置予定	国名	オフィス設置場所	設置時期
19	チェンマイ大学	タイ	今後調整	今後調整
20	カイロ又はアシュート内	エジプト	今後調整	今後調整
21	北陸銀行ニューヨーク駐在員事務所	米国	今後調整	今後調整
22	北陸銀行ロンドン駐在員事務所	英国	今後調整	今後調整

(出典：学務課資料を基に作成)

資料6-4 平成22年度自然科学研究科博士前期課程入学者数等

専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員超過率(%)
数物科学専攻	56 (56)	87 (69)	83 (67)	77 (65)	69 (48)	123.2 (85.7)
電子情報工学専攻	67 (67)	107 (106)	103 (101)	98 (95)	90 (91)	134.3 (135.8)
機能機械科学専攻	51 (51)	75 (73)	68 (70)	62 (69)	59 (64)	115.6 (125.4)
人間・機械科学専攻	40 (40)	75 (54)	67 (53)	62 (50)	59 (50)	147.5 (125.0)
物質化学専攻	26 (26)	49 (45)	47 (43)	37 (39)	37 (36)	142.3 (138.4)
物質工学専攻	53 (53)	79 (84)	76 (80)	74 (77)	70 (70)	132.0 (132.0)
地球環境学専攻	19 (19)	25 (16)	25 (16)	24 (16)	23 (15)	121.0 (78.9)
社会基盤工学専攻	48 (48)	81 (56)	64 (46)	63 (46)	47 (34)	97.9 (70.8)
生物科学専攻	17 (17)	32 (20)	28 (19)	24 (15)	19 (14)	111.7 (82.3)
生命薬学専攻	- (64)	- (98)	- (97)	- (82)	- (74)	- (115.6)
医療薬学専攻						
計	377 (441)	610 (621)	561 (592)	521 (554)	473 (496)	125.4 (112.4)

※ () 書きは前年度実績

(出典：入試課データを基に作成)

資料6-5 平成21, 22年度留学生数

(在籍者は5月1日現在)

区分	入学者		在籍者	
	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度
学士課程	9	15	57	57
大学院(前期・修士)	44	77	91	142
大学院(後期・博士)	16	31	116	126
大学院 計	60	108	207	268
研究生・その他	28	96	81	166
合計	97	219	345	491

(出典：学務課データを基に作成)

資料 7-1 学域共通科目 (例: 人間社会学域)



学域からの検索

学部・大学院からの検索

共通教育科目からの検索

すべての科目からの検索

過去のシラバスからの検索

▶▶ 学部検索
▶▶▶ 科目名検索
▶▶▶▶ 教員名検索
▶▶▶▶▶ キーワード検索

TOP > [過去のシラバスからの検索](#) > [学部検索](#) > [検索結果一覧](#)

検索条件

対象年度: [2009年] 学部等: [人間社会学域] 学科等: [学域共通科目]
 開講期: [通年, 前期, 後期] 時間割: [定期, 集中, 大学院, その他]

デフォルトの並び順は学科等になります。デフォルトに戻す場合は、「▼学科等」を指定してください。

8件見つかりました。

NO	▼学科等▲	▼学年▲	▼開講期▲	▼曜日・時限▲	▼教員名▲	▼時間割番号▲	▼科目名▲
【人間社会学域】							
1	学域共通科目	1, 2年	後期	月曜・2限	西村 聡 他	10001	大学・学問論
2	学域共通科目	1, 2年	後期	月曜・2限	鏡味 治也	10003	文化概説
3	学域共通科目	1, 2年	後期	月曜・2限	粕谷 雄一	10006	文学概論
4	学域共通科目	1, 2年	後期	月曜・2限	綿引 伴子 他	10008	ジェンダーと教育
5	学域共通科目	1, 2年	後期	木曜・5限	柴田 正良	10005	クリティカル・シンキング
6	学域共通科目	1, 2年	後期	木曜・5限	安村 典子	10007	古代ギリシア・ローマ文学
7	学域共通科目	2年	前期	水曜・4限	轟 亮 他	10002	現代日本の文化と社会
8	学域共通科目	2年	後期	月曜・3限	小島 治幸	10004	日本人の思想と文化

(出典: シラバス)

資料 7-2 学類共通科目 (例: 人文学類)

こんな学生の入学を期待します。

「人文学類」では、思想・歴史・文化・言語などの研究を通して、人間の行動や思考・創造のありかたを考えます。

現地調査で得られたデータを科学的に処理する方法を身につけたい人。

書物を通して人間とは何かを探求したい人。

学類内履修システム

1年前期開講の「人文学序説I」は、人文学類の最小教育単位である15の専門分野の紹介を主たる内容とする学類共通科目(必修)です。専門分野を選ぶときの参考にしてください。後期開講の「人文学序説II」では、文献検索の方法や論文の書き方などの基本的な学問の方法を学び、2年次以降の専門分野での学修に備えます。2年次以降は、各専門分野に所属し、4年前後期の「卒業論文演習」を通して、論文を書くための具体的な準備に入ります。そして、4年後期の1月初めに提出する「卒業論文」で4年間の学習のまとめと仕上げをします。

各専門分野の受入れ可能人数は専門分野ごとに異なります(10~25)。受入れ可能人数を超過した場合は成績(GPA値)により選考します。

学類共通科目

人文学序説I / 1年前期 2単位 人文学序説II / 1年後期 2単位 学類共通英語I / 2年 2単位 学類共通英語II / 3年 2単位 卒業論文演習I / 4年前期 2単位 卒業論文演習II / 4年後期 2単位 卒業論文 / 4年後期 6単位

金沢大学大学院との接続

人間社会環境研究科(博士前期課程)「人間文化専攻」、「社会システム専攻現代社会論コース」

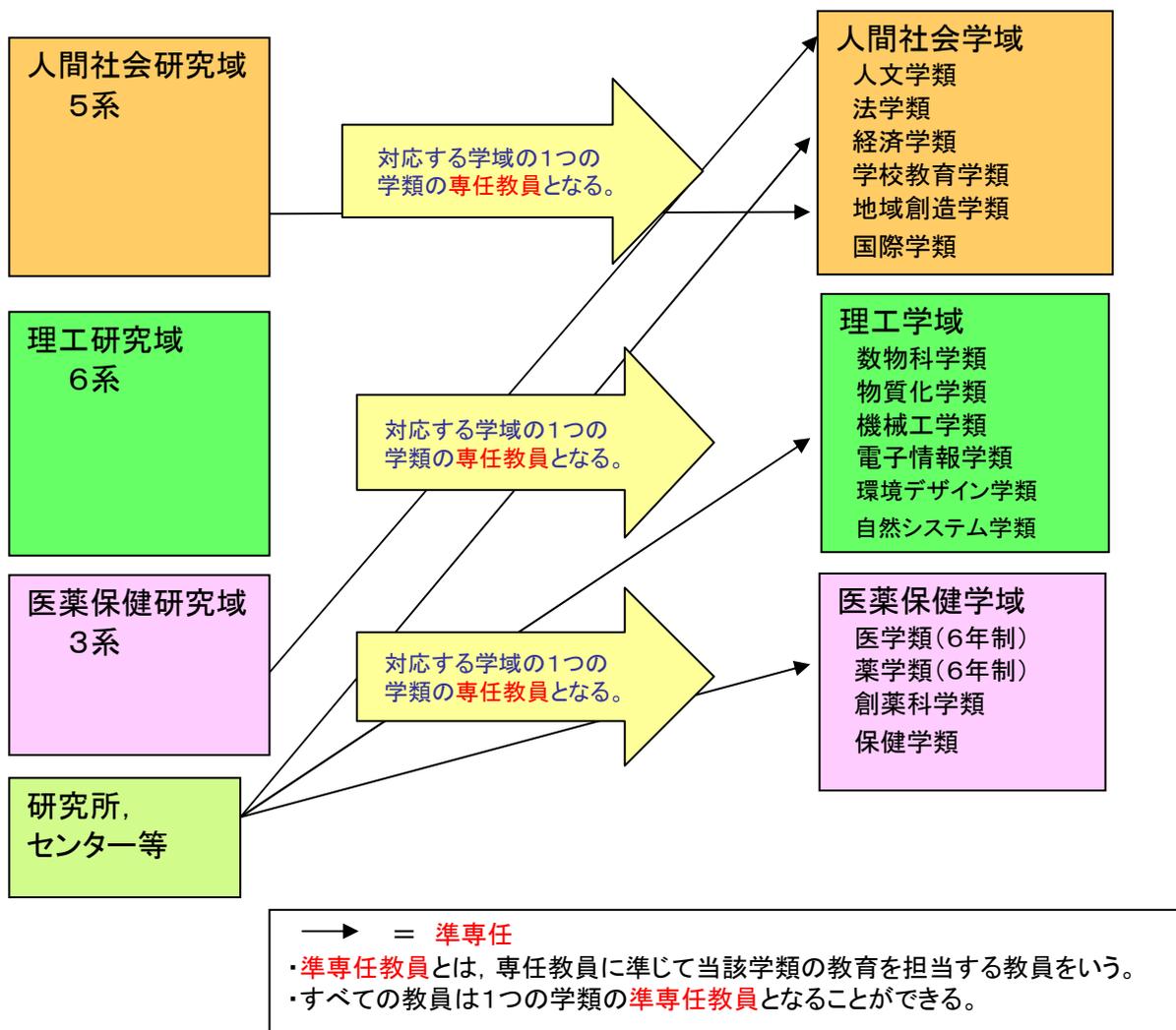
(出典: 大学案内2011)

資料 8-1 平成21年度学長裁量人員配置状況

組織	配置理由	数
人文社会研究域	実務家教員	4
	三学域移行対応	4
	学校教育充実	1
医薬保健研究域	実務家教員	2
	医学教育充実	2
がん研究所	活性化	2
附属病院	活性化	1
フロンティアサイエンス機構	特任教員	3
保健管理センター	産業医	1
	カウンセリング	1
イノベーション創成センター	知的財産	1

(出典：人事課データを基に作成)

資料 8-2 専任教員と準専任教員について



(出典：学域再編準備事務室資料)

資料 8-3 複数の系の教員の連携による学域共通科目
 (例: 人間社会学域平成21年度開講「現代日本の文化と社会」)

The screenshot shows the 'KANAZAWA Syllabus 2010' website. It features a navigation bar with search options: '学域からの検索', '学部・大学院からの検索', '共通教育科目からの検索', 'すべての科目からの検索', and '過去のシラバスからの検索'. Below this is a breadcrumb trail: 'TOP > 過去のシラバスからの検索 > 学部検索 > 検索結果一覧 > 科目詳細'. A '印刷プレビュー' (Print Preview) link is visible on the right. The main content area is titled '人間社会学域 > 学域共通科目' and contains a table with the following details:

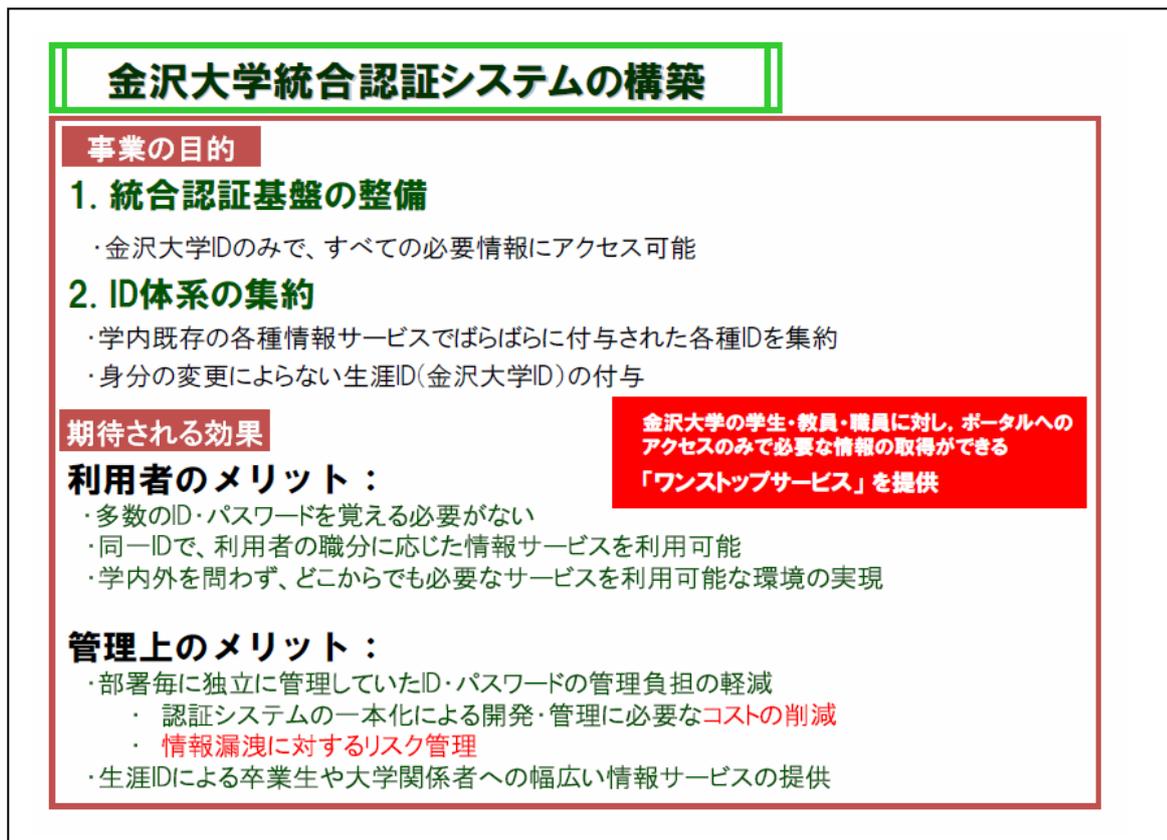
授業科目名[英文名] / Course Title	現代日本の文化と社会 [Introduction to the Modern Japanese Culture and Society]		
担当教員名[ローマ字表記] / Instructor	轟 亮 [TODOROKI MAKOTO]、鏡味 治也 [KAGAMI HARUYA]、森 雅秀 [MORI MASAHIDE]、神谷 浩夫 [KAMIYA HIROO]、能川 泰治 [NOGAWA YASUHARU]、小林 信介 [KOBAYASHI SHINSUKE]		
時間割番号 / Course Number	10002	科目区分 / Category	選択指定
講義形態 / Lecture Form		対象学生 / Assigned Year	2年
適正人数 / Class Size		開講学期 / Semester	前期
曜日・時限 / Day・Period	水曜・4限	単位数 / Credit	2
キーワード / Keywords	日本社会・日本文化		

(出典：シラバス)

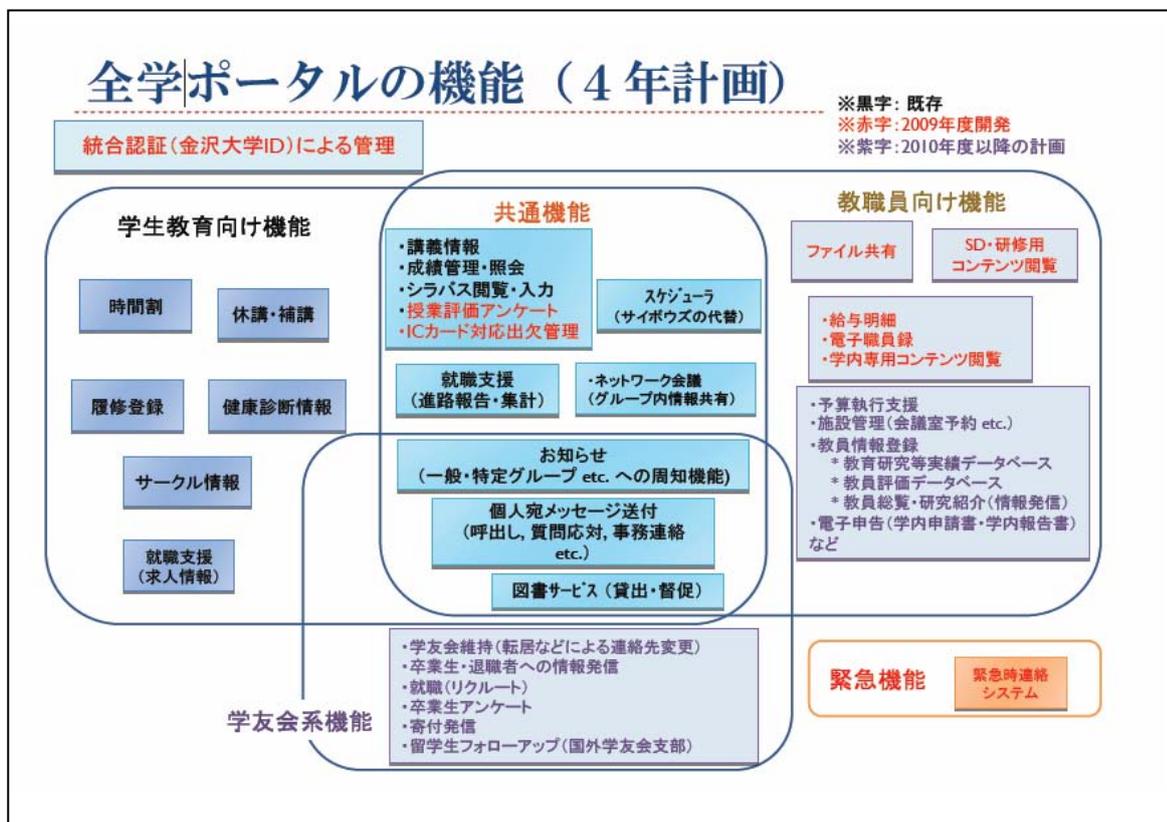
(参考) 平成21年度開講「現代日本の文化と社会」担当教員所属

担当教員	所属
轟 亮	人間科学系
鏡味 治也	人間科学系
森 雅秀	人間科学系
神谷 浩夫	人間科学系
能川 泰治	歴史言語文化学系
小林 信介	経済学経営学系

資料 9-1 統合認証システムについて



資料 9-2 全学ポータルの機能イメージ図



(出典：総合メディア基盤センター資料)

資料10-1 平成21年度ピア・サポーター体制

学生区分	3期生	4期生	5期生	6期生	合計
	18.4月～	19.4月～	20.4月～	21.4月～	
学士課程学生	2	4	7	14	27
大学院生			1		1
合計	2	4	8	14	28

(参考) 平成21年度ピア・サポーター相談件数

区分	4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	2	1	2	1	0	0	1	0	0	8
女性	3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	12
メール相談	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
計	4	5	4	3	3	1	0	1	0	0	21

(出典：学生支援室データを基に作成)

資料10-2 「学生サポートガイドブック」編集体制

〈編集委員〉

[委員長]	保健管理センター	鈴木 健一
	学生生活部会長	志村 恵
	大学教育開発・支援センター	青野 透
	留学生センター	八重澤 美知子
	医薬保健研究域薬学系	本間 隆之
	学生部学務課	岡本 真由美
	学生ピアサポーター	
	学生ピアサポーター	

お願い：

学生支援に役立たせることを目的とする本冊子を、より利用し易いものにするため、教職員の皆様のご意見をメール等で学生部までお寄せください。有益と思われるご意見は、大学のホームページ上で「教職員必携 学生サポートガイドブック 2009年度版 補遺」として掲示させていただくほか、改訂時に反映させていただきます。ご協力をお願いします。

**教職員必携
学生サポートガイドブック**

平成21年3月

編集・発行：金沢大学教育企画会議学生生活部会
事務局：金沢大学学生部
〒920-1192 金沢市角間町
電話：076-264-5172
FAX：076-234-4040
Eメール：soudan@ad.kanazawa-u.ac.jp

資料 11-1 コミュニケーション・プレイス写真等



大学会館 (GPカフェ)



総合教育棟1号館

(出典：金沢大学ホームページ：<http://hsc.ad.kanazawa-u.ac.jp/sgp/communication-place/communication->

資料 11-2 ラーニング・コモンズ写真等

KULiC-α ラーニング・コモンズ

Kanazawa University Library Commons

KULiC-αは、①ブックラウンジ、②インフォスクエア、③コラボスタジオから成る、ラーニング・コモンズと呼ばれる新しい形の学習支援スペースです。

各コーナーの紹介 図の見たいところをクリックしてください

インフォスクエア ブックラウンジ

コラボスタジオ (オープンスタジオ/グループスタジオ)



ライブラリー・カフェ(ほん和カフェ)



コラボスタジオ

(出典：金沢大学ホームページ：<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/kulic/index.html>)

資料12-1 金沢大学学生の表彰に関する申合せ

(目 的)	
1	この申合せは、金沢大学（以下「本学」という。）の学生を表彰する場合の必要な事項を定めることを目的とする。
(表 彰)	
2	表彰は、次のとおり行うものとする。
(1)	表彰は、学長が行う。
(2)	表彰は、表彰状を授与するものとし、併せて記念品を贈呈することができる。
(3)	表彰の推薦は、学域等から当該教育研究会議の議に基づき、表彰する学生の氏名、表彰する理由及び関係書類を教育企画会議（以下「本会議」という。）に提出し、本会議の審議を経た上で、学長に行うものとする。
	また、複数の学域等及び全学に関わる事項並びに課外活動等に関わる事項については、顧問教員等本学の教員から、別紙推薦状を本会議に提出し、本会議の審議を経た上で、学長に行うものとする。
(4)	表彰は、学位記・修了証書授与式又はその都度行うものとする。
(表彰基準)	
3	学生の表彰の基準は、次の各号の一に該当するものとする。
(1)	本学における学業・卒業論文等の成果が優れていると認められる者
(2)	全国的又はそれ以上の規模で開催される競技会又はコンクール等で優れた評価を得る等、本学の課外活動の振興に顕著な功績があったと認められる個人又は団体
(3)	社会活動において優れた評価を受け、かつ、本学の名誉を著しく高めたと認められる個人又は団体
(ア)	社会奉仕活動など顕著な活動が認められる者
(イ)	人命救助
(4)	その他、前2号と同等又はそれ以上の表彰に価する行為等があったと認められる者
(事 務)	
4	学生の表彰に関する事務は、学生部学務課において行う。

資料12-2 平成21年度表彰一覧 (21.10.31 (土) ホームカミングディにおいて表彰)

受賞者	表彰基準	競技名
フォーミュラ研究会	3 (2)	
経済学部4年生	3 (2)	テニス
教育学部4年生	3 (2)	ヨット
教育学部4年生	3 (2)	ヨット
教育学部3年生	3 (2)	陸上 (競歩)
教育学部4年生	3 (2)	陸上 (やり投げ)
薬学部 4年生	3 (2)	弓道
工学部 3年生	3 (2)	テニス

(出典：学務課データを基に作成)

資料 13-1 金沢大学アカンサス・スカラシップ規程（抜粋）

(給付対象者)
第3条 アカンサス・スカラシップの給付対象者は、平成20年4月1日以降に本学の学域に入学(再入学、転入学及び編入学を含む。)し在籍する学生のうち、 <u>学業成績が特に優れていると認められる者とする。</u>
2 アカンサス・スカラシップの給付対象者数は、別表に掲げるとおりとする。
(給付額等)
第4条 アカンサス・スカラシップの給付額は学則第71条で定める <u>授業料と同額とする。</u>
(給付対象者の選考方法)
第5条 各学類において、GPAを基本に学業成績を審査のうえ候補者を選考し、教育担当副学長が、各学類での選考結果に基づきアカンサス・スカラシップ給付対象者を決定する。

資料 13-2 金沢大学授業料免除等選考基準細則（抜粋）

3. 免除の判定について
授業料免除及び入学金免除を受ける者は、前記1.及び2.に定める家計基準及び学力基準のいずれにも該当している者の中から選考する。
ただし、「金沢大学授業料免除及び徴収猶予規程」第6条第2項及び「金沢大学入学金免除及び徴収猶予規程」第2条第2項及び第3条に定める特別な事情によるものについては、前記1に定める家計基準に該当している者の中から選考する。
また、全額免除又は半額免除の決定については、 <u>基準該当者には半額免除を許可することを原則とする</u> が、その結果、該当期における免除実施可能額に余りが生じた場合は、その範囲内で家計困難度の高い者に対して全額免除を許可する。

資料 13-3 平成21年度授業料免除実施状況

区分		申請者	基準適格者	免除者数	全学免除	半額免除
前期	一般学生	1,289人	1,090人	1,090人	42人	1,048人
	留学生	108人	105人	105人	0人	105人
	合計	1,397人	1,195人	1,195人	42人	1,153人
後期	一般学生	1,326人	1,133人	1,104人	40人	1,064人
	留学生	107人	94人	94人	0人	94人
	合計	1,433人	1,227人	1,198人	40人	1,158人

(出典：学生支援室データを基に作成)

資料 13-4 金沢大学外国人留学生規程に関する申合せ

第9条 第4項に定める「必要な事項」について、以下のとおり申し合わせる。
1 学長が特に認めた留学生について 外国人留学生大学院特別選抜「交流促進特別枠」により選抜された留学生をいう。
2 検定料及び入学金について 不徴収とする。
3 授業料について
(1) 大学院学生（修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程）、研究生・特別研究学生
①全額不徴収 50人（指定校、成績等を考慮）
②半額不徴収 50人（指定校、成績等を考慮）
③徴収する 25人
(2) 科目等履修生・特別聴講学生（セメスタープログラム） 徴収する 30人
(3) 上記（1）の①及び②に掲げる不徴収については、研究科長からの推薦に基づき、国際交流本部会議の議を経て、教育企画会議（留学生部会）において審議し、学長が決定する。
4 その他 この申合せは、各年度末に見直すものとする。

資料14 大学会館内バリアフリー設備整備写真



2階管理事務室前廊下
〔着工前〕



2階管理事務室前廊下
〔完成、平成20年度〕



1階売店
〔着工前〕



1階売店
〔完成、平成20年度〕



2階食堂
〔着工前〕



2階食堂
〔完成、平成20年度〕



2階湯沸かし・倉庫
〔着工前〕



2階EVホール
〔完成、平成21年度〕



1階サービスヤード: 両開き扉
〔着工前〕



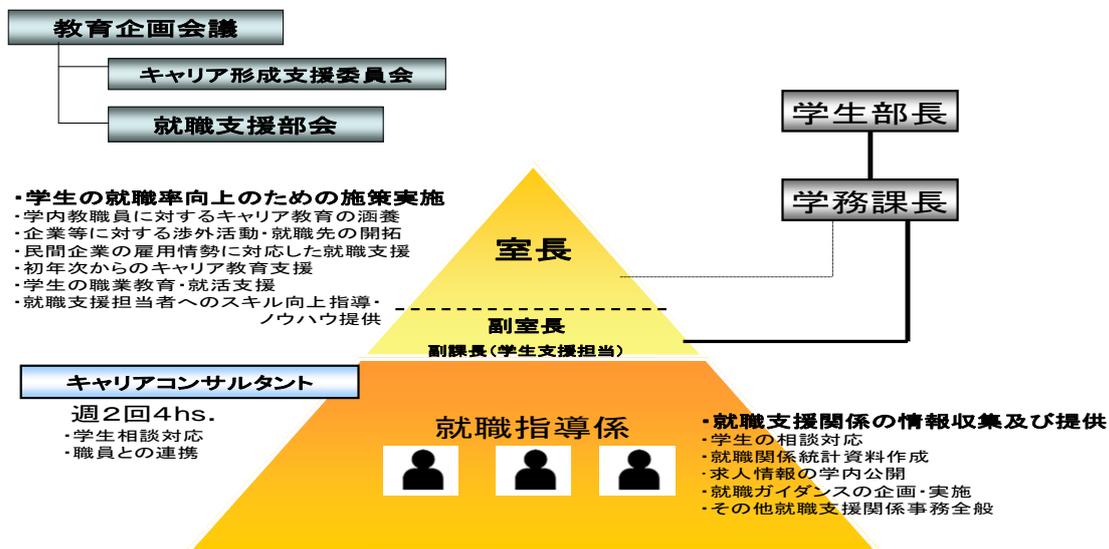
1階サービスヤード: 自動ドア
〔完成、平成21年度〕

資料 15-1 平成21年度就職支援に係る共同学習会開催状況

開催日	タイトル・内容
21.5.8	<p>自宅待機を読み解く～企業人事の立場からの視点 ー就職支援力を高めるために3ー 発表者：山本 均（就職支援室長） 教育企画会議就職支援部会では、現在の経済状況等を背景に、大学として、また個々の教職員が学生の就職活動をどのように支援していくべきか、学内外からの情報をもとに、継続的に議論の場を設けることとした。シリーズとしての第3回は、本年4月1日に着任された山本就職支援室長に、新入社員自宅待機から見えてくる企業の新卒採用戦略について、企業人事畑を長く歩んでこられたご経験に基づき分析していただく。</p>
21.6.10	<p>インターンシップの意義 ー就職支援力を高めるために4ー 発表者：篠原 功治（キャリアコンサルタント） 教育企画会議就職支援部会では、現在の経済状況等を背景に、大学として、また個々の教職員が学生の就職活動をどのように支援していくべきか、学内外からの情報をもとに、継続的に議論の場を設けている。シリーズとしての第4回は、長くキャリアコンサルタントとして活躍されてこられた篠原功治氏に、インターンシップが学生にとって、企業等にとって、どのような意味を持っているのかについて、その最新事情を講師にレクチャーしていただく。その後、参加者との意見交換により、インターンシップを希望する学生たちをどのように支援すべきか、認識を深めたい。教職員および、学生、院生の参加を広く求めたい。</p>
21.9.29	<p>大企業、首都圏企業の就職状況 ー就職支援力を高めるために5ー 発表者：寺澤康介（採用プロドットコム株式会社代表取締役） 教育企画会議就職支援部会では、現在の経済状況等を背景に、大学として、また個々の教職員が学生の就職活動をどのように支援していくべきか、学内外からの情報をもとに、継続的に議論の場を設けている。シリーズとしての第5回は、多くの企業の採用担当者が登録・活用している専門サイト「採用プロ.com」の寺澤氏に、主要企業の採用戦略のポイントについてご講演いただく。おりしも、学生たちの首都圏での就職活動のサポートポイントとしての役割も担った、本学の新しい東京事務所が、今夏、日本橋にオープンした。首都圏を中心とした大企業に就職を希望する学生たちをどのように支援すべきか、認識を深めるため、広く、教職員・学生・院生の参加を求めたい。</p>

(出典：金沢大学ホームページ：http://www.rche-kanazawa-u.jp/event/k09.php)

資料 15-2 就職支援室組織図



就職支援室の主な業務

- ・就職ガイダンス、官庁説明会等開催(年間約50回)
- ・業界・企業研究会開催(年2回 延べ6日間)
- ・学生就職相談
- ・進路状況調査
- ・求人情報受付
- ・インターンシップ(募集・派遣)
- ・「大学・社会生活論」(初年次キャリア教育)
- ・就職支援部会、キャリア形成支援委員会所掌
- ・就職支援室ニュース発行
- ・エントリーシート添削
- ・面接練習
- ・統計・調査
- ・ホームページ運営
- ・企業対応
- ・就職情報交換会出席

(出典：就職支援室資料)

資料 16-1 社会人基礎力アンケート


社会人基礎力アンケート 2010年度

(学籍番号:0601030999)

以下の設問にご回答ください。社会人に必要とされる基礎力の12の項目における現時点のあなたの強み、弱みが分析できます。
点数の高低を競うものではありませんので、設問には素直に回答してください。

Q1.自分の強み・弱みを把握し、困難なことでも自信を持って取り組むことができる

まったくできていない
 あまりできていない
 どちらともいえない
 だいたいできている
 いつもできている

Q2.作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てられる

まったくできていない
 あまりできていない
 どちらともいえない
 だいたいできている
 いつもできている

Q3.周囲の人の状況(人間関係、忙しさ等)に配慮して、良い方向へ向かうよう行動することができる

まったくできていない
 あまりできていない
 どちらともいえない
 だいたいできている
 いつもできている

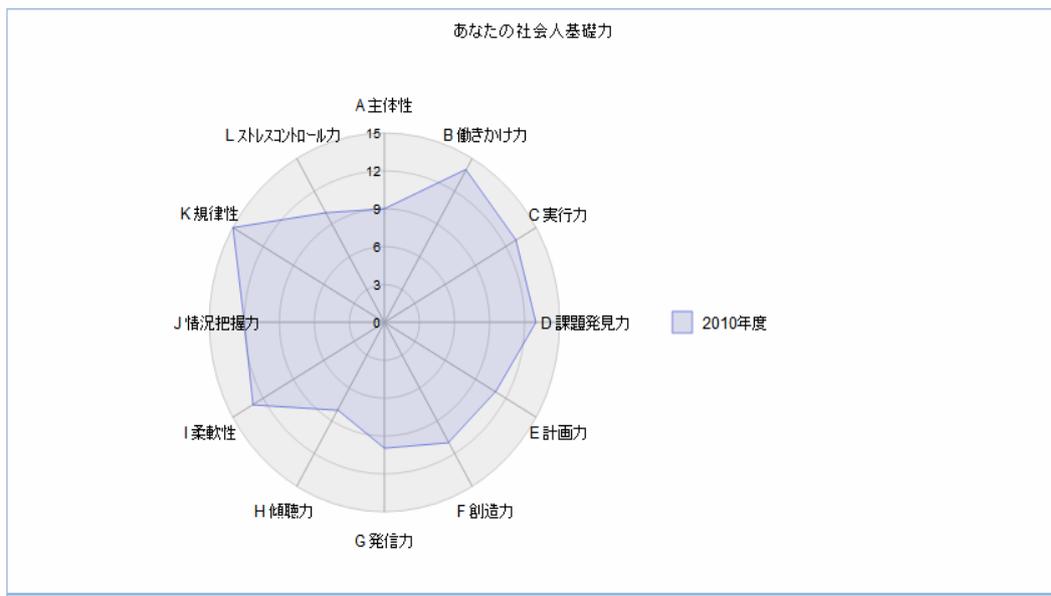
○自己分析画面

▶ [ポータルトップ](#) > [就職支援\(求人情報\)](#) > 社会人基礎力アンケート

アンケート回答結果 | [アンケート回答](#) | [社会人基礎力企業検索](#)

社会人基礎力アンケート

1. 設問に対して自分の価値観で回答して頂いた結果ですので、それぞれの項目の得点数はあまり大きな意味を持ちません。
2. グラフの凸凹の、凸の部分があなたの現時点での強み、凹の部分が弱みを示しています。自己分析を行う際のご参考にお役立てください。
3. 強みとなっている項目は、その項目を使って成果を上げていることが多いようです。過去の成功体験の中で具体的にどのような強みを発揮したか振り返ってみるとよいでしょう。
4. 弱みとなっている項目は、そのような項目を常日頃あまり使っていないために弱みになっていることが多いようです。何か自分でアクションを起こす際には、意識的にそのような行動を取ることを心がけることで、弱みを強みに変えることができます。
5. 過去に受診したことのある方は、年度ごとに受診したレーダーチャートが表記されています。それを見ることで自分の成長の過程を見ることができます。



(出典：金沢大学ホームページ (学内専用) : https://acanthus.cis.kanazawa-u.ac.jp/Portal/u017/u017.s_com.resultReply.php)

資料16-2 平成20, 21年度就職ガイダンス等実施一覧

区分	ガイダンス等概要	講師等	参加者	
			H20	H21
業界・企業研究会	業界・企業研究会	北陸地区・全国地区企業	480	1,400
	業界・企業研究会	北陸地区・全国地区企業	1,200	1,200
イベント	就職支援バスツアー	日本たばこ外各官庁等	—	33
	北國銀行1dayインターンシップ	北國銀行	—	15
	北陸銀行1dayインターンシップ	北陸銀行	—	15
	就活キャンパスin金沢大学 ※ 社会人基礎力活用セミナー	北陸地区各企業 経済産業省ほか	—	31 50
インターンシップ	インターンシップガイダンス	エン・ジャパン(株)	89	250
	インターンシップマナー講座	(株)毎日コミュニケーションズ	109	200
就職活動全般	進路ガイダンス	山本均就職支援室長	—	250
	就職リスタート相談会 ※	キャリアカウンセラー・就職支援室長	—	22
	理系向け進路ガイダンス	(株)リクルート	—	50
	仕事研究-自分に合った職種とは-	エン・ジャパン(株)	53	—
	夏休み直前対策就職ガイダンス	エン・ジャパン(株)	70	70
	就職活動に向けての心得(文系対象)	エン・ジャパン(株)	59	—
	就職活動に向けての心得(理系対象)	エン・ジャパン(株)	136	—
	就職活動に心構えと心得(文系対象)	エン・ジャパン(株)	138	—
	就職活動に心構えと心得(理系対象)	エン・ジャパン(株)	175	—
	第2回進路ガイダンス	山本均就職支援室長	—	150
	学内説明会(旭化成株式会社) ※	旭化成株式会社	—	8
	就職活動の進め方(全国企業編)	アイバック	138	300
	就職活動の進め方(地方企業・Uターン編)	アイバック	—	250
	自己分析	山本室長	—	250
	業界・企業研究ガイダンス	(株)ディスコ	—	200
	一般常識テスト	(株)ディスコ	—	220
	自己PR&志望動機	山本室長	—	200
	会社説明会の回り方	(株)リクルート	135	135
	1・2年生向け就職対策講座	エン・ジャパン(株)	21	—
	エントリーシート講座I	(有)ライターハウス	—	200
	振り返りガイダンス	アイバック	—	100
	仕事と家庭の両立のための会社の選び方	石川労働局	—	50
	面接対策ガイダンス	山本室長	—	200
	エントリーシート講座II	(有)ライターハウス	—	200
	女子のためのメイクアップ&身だしなみ講座	資生堂販売	—	100
	面接・集団討論練習会	キャリアカウンセラー・就職支援室長	—	80
	業界・企業研究	保健学科就職ガイダンス ※	(株)文化放送キャリアパートナーズ	45
マスコミ業界就職ガイダンス		(株)毎日コミュニケーションズ	23	80
公認会計士制度説明会		公認会計士・監査審査会	—	60
製薬系就職ガイダンス		(株)毎日コミュニケーションズ	61	55
業界研究ガイダンス-金融業界編-		(株)三井住友銀行	70	100
業界研究ガイダンス-損保業界編-		日本損害保険協会	—	50
業界研究ガイダンス-食品業界編-		山崎製パン	—	80
業界研究ガイダンス-電子部品業界編-		村田グループ	—	100
業界研究ガイダンス-製造業界編-		村田グループ	110	—
業界研究ガイダンス-理工系編-		村田グループ	200	—
業界研究ガイダンス-マーケティング編-		村田グループ	50	—
業界研究ガイダンス-IT業界編-		村田グループ	35	—
公認会計士ガイダンス		日本公認会計士協会北陸会	—	10
業界研究ガイダンス-電機業界編-		三菱電機	—	80
航空業界就職対策セミナー		金沢ビジネスエアアカデミー	10	10
コミュニケーションフォーラム		金沢ビジネスエアアカデミー	60	—
就職活動対策講座		職務適性テスト	—	135
	自己分析	山本室長	180	—
	一般常識テスト	(株)ディスコ	220	—
	自己PR&志望動機	山本室長	200	—
	エントリーシート講座I	(有)ライターハウス	230	—
	面接対策ガイダンス	山本室長	250	—
	エントリーシート講座II	(有)ライターハウス	190	—
公務員	公務員面接・集団討論練習会1 ※	キャリアカウンセラー・就職支援室長	90	—
	公務員面接・集団討論練習会2 ※	キャリアカウンセラー	—	55
	公務員志望者のための就職対策講座	キャリアカウンセラー	170	150
	公務員ガイダンス 国家公務員	人事院中部事務局	125	120
	公務員ガイダンス 金沢市役所	金沢市役所	85	180
	公務員ガイダンス 富山県	富山県	38	50
	公務員ガイダンス 福井県	福井県	31	50
	公務員ガイダンス 労働基準監督官	石川労働局	—	50
	公務員ガイダンス 石川県	石川県人事委員会・石川県警察	125	200
	公務員ガイダンス 国税査察官	国税庁・金沢国税局ほか	—	100
教員	官庁説明会 裁判所事務官	金沢裁判所	—	120
	教員就職ガイダンス 模擬面接・模擬授業 ※	村井加代子氏他	65	169
	教員就職ガイダンス 受験申込書の申し込み, 添削等	村井加代子氏他	22	—
	教員就職ガイダンス 試験対策	村井加代子氏他	30	—
	教員就職ガイダンス 講演 ※	時事通信社	—	150
Uターン	教員就職ガイダンス 石川県	時事通信社	91	100
	福井県Uターン就職ガイダンス	石川県教育委員会	63	125
留学生	福井県・福井県経営者協会	—	—	60
	留学生対象就職ガイダンスI	(株)ディスコ	17	20
	留学生対象就職ガイダンスII	(株)ディスコ	6	—
官公庁説明会 H20年度16回 H21年度11回実施			701	378
参加者合計			6,771	9,137

※は、4年生及び修士2年生対象に企画したもの

資料 17 バンドン工科大学との二重学位プログラム実施に関する覚書

9. 両大学院は、当該プログラムの学生に対して勉学及び留学生活のための指導・助言、オリエンテーション並びにカウンセリングを行うものとする。

10. 両大学院は当該プログラムの学生のために、学生寮その他低廉で安全な宿舎を提供するために尽力するものとする。

11. 当該プログラムの学生は、健康保険、傷害保険及び損害保険等適切な保険に自費で加入するものとする。

12. 受け入れ側大学院は、当該プログラムの学生が次の各号に該当する状況が生じた場合は、受入れを中止することができるものとする。

- (1) 経済的な理由又は疾病等により勉学の継続が困難となった場合
- (2) 成績が不良であることが申明した場合
- (3) 法令又は学則に違反する行為をした場合

13. 受け入れ側大学院は、当該プログラムの学生に対し学習評価を行い、成績証明書（研究成果報告書）を作成し、当該学生はそれを派遣大学院に提出するものとする。

14. 当該プログラムの学生が双方の大学院において修得した単位と研究成果については、派遣側大学院は、各自の規定に基づき単位を承認することができるものとする。

15. 両大学院は、双方協議の上、より具体的な実施方法及び教育計画について細則を定めるものとする。

16. この覚書の有効期間は責任者が署名した期日から3年間とする。一方の大学院が協力関係を終了しようとする場合は、6ヶ月以上前に書面により相手方へ通知する。もし、3年後に一方の大学院から書面により中止又は内容の変更の要求がなされない場合は、当覚書は、引き続き有効なものとする。

16. この覚書は日本語と英語およびインドネシア語により3種類作成し、それぞれ同等の効力を有するものとする。

2009年5月8日 2009年5月8日

中尾 操 太郎

金沢大学理工研究域
理工研究成長 中尾 操太郎

バンドン工科大学理学研究科
研究科長 Akhmaloka

2009年5月8日 2009年5月8日

久保 浩輔

金沢大学理工研究域数物科学系
数物科学系長 久保 浩輔

バンドン工科大学自然科学研究科
計算科学専攻長 Puji Asnani

金沢大学大学院自然科学研究科数物科学専攻と
バンドン工科大学自然科学研究科計算科学専攻との
二重学位プログラム実施に関する覚書

日本国金沢大学大学院自然科学研究科数物科学専攻とインドネシア共和国バンドン工科大学自然科学研究科計算科学専攻は、金沢大学とバンドン工科大学との間で2008年3月3日に締結した協定に基づいて、両大学院の国際的評価を高めるとともに、国際競争力を備えた人材を養成して日本とインドネシア共和国の両国の社会的発展への貢献を果たし、両国の友好関係を促進するため、両校の大学院生を互いに派遣し、二重学位授与のためのプログラムを実施することを決定した。双方は以下の事項について意見の一致を得た。

1. 当該プログラムを修了する学生には各大学の規程に則った修士学位を授与する。また、修士学位の他に当該プログラム修了証書を授与する。

2. 両大学院は、各学年、原則として10人の学生を受け入れ側大学院に留学させる。その学生数は、各学年回数を原則とするが、両大学院の協議により決定する。留学期間は、原則1年とする。

3. 両大学院は、二重学位を取得できる能力を備えた学生を選考する必要があり、学力検査(筆記口述試験)及び学業成績証明書と併合して学生選抜を行う。金沢大学選抜は自然科学研究科数物科学専攻(IIコース)入学予定者から本プログラム希望者に対して実施する。バンドン工科大学学生選抜はバンドン工科大学自然科学研究科計算科学専攻入学予定者から本プログラム希望者に対して実施する。

4. 当該プログラムの学生の受け入れ先での身分は正規学生とし、受け入れ側大学院における在籍期間は、留学期間を含め、双方とも2年とする(以下「標準修業年限」という。)

5. 当該プログラムの学生が受け入れ側大学院で留学を開始する時期は、両大学院の学期初めとし、大学院入学の半年後とする。

6. 当該プログラムの学生は、受け入れ側大学院の履修等に関する規則と、派遣側の留学に関する規則を遵守するほか、双方の二重学位授与に関する規則を遵守し、その教育課程を終え、かつ双方の研究指導を受けるものとする。

7. 金沢大学はバンドン工科大学学生の入学検定料、入学料及び授業料を免除する。バンドン工科大学は金沢大学学生の入学検定料、入学料及び授業料を免除する。ただし、当該プログラムの学生が標準修業年限を超えて受け入れ側大学院に在籍する場合は、受け入れ側大学院にその期間の授業料を収めなければならない。

8. 両大学院は、派遣側大学院に列し、当該プログラムによる留学に必要な情報、奨学金に関する情報及び留学期間の必要諸費用(生活費、食費、健康保険料、外国人登録料等)に関する情報を提供し、当該プログラムの学生の便宜を図るものとする。

資料18-1 金沢大学学生・留学生宿舍整備計画の基本方針

—金沢大学学生・留学生宿舍整備計画—

基本方針

- 1, 整備手法は民間資金の活用を前提として検討する。
- 2, 場所は角間国際交流ゾーンとする。
- 3, 規模は当面300人程度で計画する。
- 4, 混住型とし比率は日本人6:留学生4または、日本人5:留学生5とする。
- 5, 単身棟の基本平面プランは小グループが共同生活をするルームシェア型(ユニット型)とする。
- 6, 維持管理は委託外注とする。

—1—

(出典：施設企画課資料)

資料18-2 金沢大学学生・留学生宿舍整備事業の公告

金沢大学施設管理部

Facility Management Department

金沢大学 金沢大学事務局



- お知らせ・更新情報
- 機構・業務内容
- 施設企画課
- 工事入札・契約情報
- 役務契約情報
- PFI情報
- 角間キャンパス整備情報
- 宝町キャンパス整備情報
- 宿舍管理
- 技術系職員採用情報
- 安全環境課
- 金沢大学環境報告書
- エネルギー情報
- 100円バスに関する情報
- 施設業務課

「金沢大学学生・留学生宿舍整備事業」の事業者募集(公告)について

事業者募集(公告)

募集要項

別紙1 様式集(提出書類)

別紙2 様式集(質疑書・条件協議書)

別紙3 要求水準書

要求水準書添付資料

要求水準書添付資料(現況測量図[資料2]) [CADデータ].dxf(22.1.22更新)

別紙4 審査基準

※要求水準書添付資料(現況測量図[資料2]) [CADデータ].dxfに誤りがありましたので修正しました。

別紙5 基本協定書(案)

別紙6 事業契約書(案)

※平成22年1月29日 別紙5 基本協定書(案)、別紙6 事業契約書(案)を掲載しました。

※募集要項等に関する質問の回答の公表(第1回目)は平成22年2月10日を予定していましたが、平成22年2月12日に変更(び)りました。

募集要項等に関する質問の回答の公表(第1回目)

※平成22年2月12日 募集要項等に関する質問の回答の公表(第1回目)を掲載しました。

募集要項等に関する質問の回答の公表(第2回目)

※平成22年3月5日 募集要項等に関する質問の回答の公表(第2回目)を掲載しました。

※平成22年3月10日 募集要項等に関する質問の回答の公表(第2回目)の一部を修正(16番:外構計画)しました。

参考

- ・金沢大学の大学概要2009のデジタル版のページは[こちら](#)
- ・金沢大学の国際化についての広報紙のページは[こちら](#)

(出典：金沢大学ホームページ：http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_sisetu/index.htm)

資料19 アジア人材育成プロジェクト

2007年、アジアの相互理解と経済連携の促進に向けて、経済産業省と文部科学省は「アジア人財資金構想」をスタートさせました。本学の「アジア人財育成プロジェクト」はその一翼を担うものです。

このプロジェクトは、北陸の産業界と本学大学院自然科学研究科がタッグを組んで行う留学生支援事業。就職までを視野に入れ、アジアからの留学生を「ビジネスにも精通したエンジニア」に育成します。修了者は将来、日本企業またはアジア諸国で事業展開する日系企業に就職し、両者の架け橋となつて活躍することが期待されます。

その「人財育成」に向けて、本学は大学院自然科学研究科の博士前期課程に「高度専門（技術・ビジネス）留学生特別コース」を設置。石川県産業創出支援機構や石川県国際交流協会とも連携し、ものづくりのための専門教育、日本語・ビジネス教育、そして企業での実践教育（インターンシップ等）を行っています。

地元産業界と連携した「人財育成」

前編 留学生を「人財」へと育てるプロジェクトの実像とは

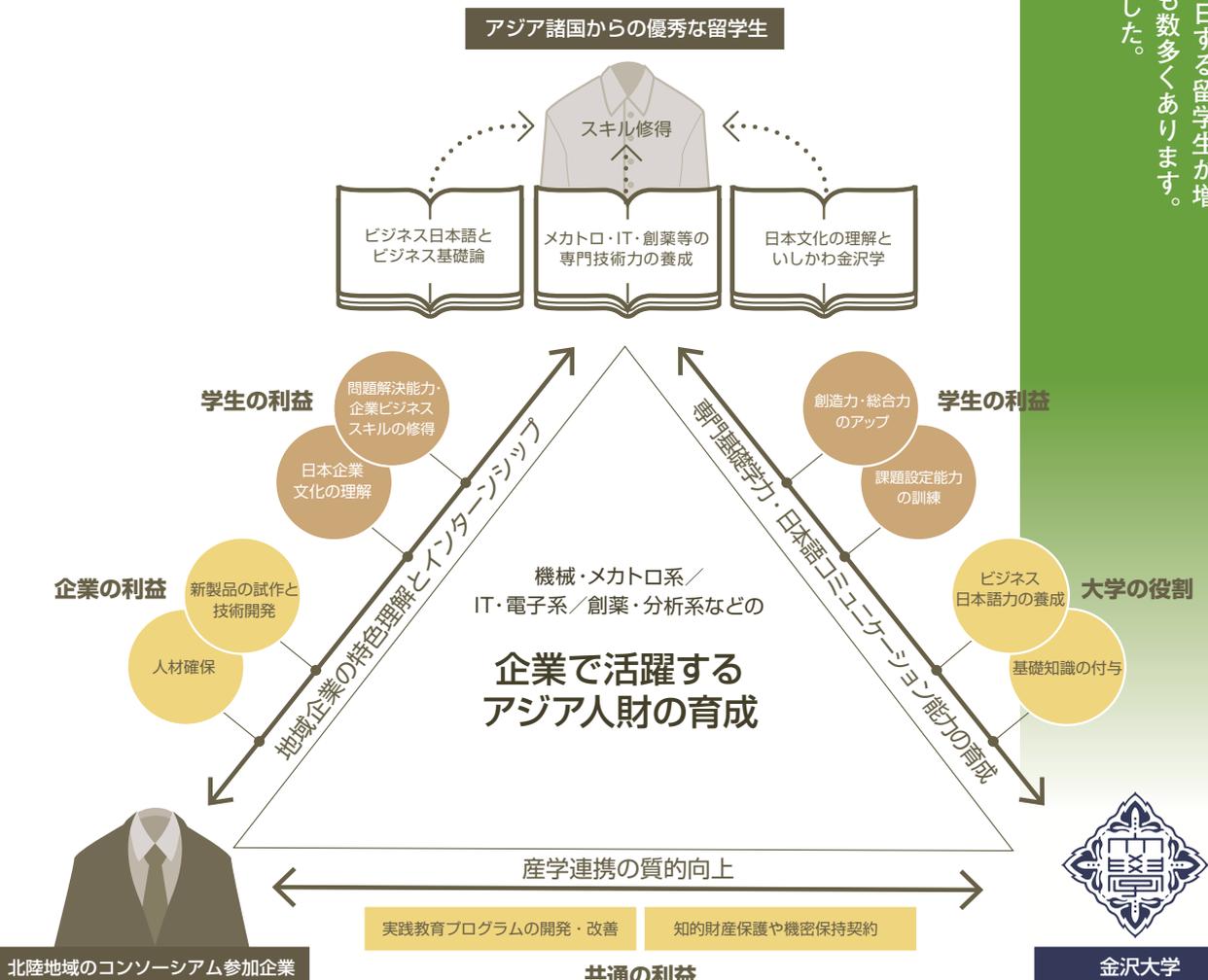
近年、成長の著しいアジア諸国から、日本に興味を持ち、日本語や日本文化を学びに来日する留学生が増えています。また、アジアを重要な市場と考え、進出を果たしたいと考える日本企業も数多くあります。こうした背景のもと、金沢大学では「アジア人財育成プロジェクト」を本格始動させました。

高度専門（技術・ビジネス）留学生特別コースカリキュラム

金沢大学における教育		産学連携による教育	
専門教育	日本語・日本ビジネス教育	企業実践教育	
専門個別科目 （10単位以上選択必修） ■ 機械・メカトロ系 機能機械科学専攻 人間・機械科学専攻 ■ IT・電子系 電子情報工学専攻 ■ 創薬・分析系 生命薬学専攻 ■ 物質工学系 物質工学専攻 ■ 社会基盤系 社会基盤工学専攻 ■ 地球環境系 地球環境学専攻 課題研究（8単位必修） ・修士論文の作成	（必修を含む18単位以上選択必修） ■ 総合日本語 2科目4単位必修 ■ ビジネス日本語 2科目4単位必修 ■ 日本文化（いしかわ金沢学） 1科目2単位必修	（6単位必修） ■ 地域企業概論 1科目2単位必修 ・企業の特徴と優位性のある技術の理解 ■ 地域企業研究 1科目2単位必修 ・インターンシップ事前教育 ■ 企業技術研修 1科目2単位必修 ・インターンシップ（技術系）	（6単位必修） ■ ビジネス基礎論 1科目2単位必修 ■ MOT（技術経営）教育 2科目4単位必修 ・技術マネジメント基礎論 ・ニュービジネス創造論 ・地域ビジネス論 ■ 企業ビジネス研修 1科目2単位必修 ・インターンシップ（ビジネス系）

専門教育は金沢大学が実施。ビジネス日本語は石川県国際交流協会、企業実践教育は石川県産業創出支援機構と地元企業が支援を行う

アジア人財育成プロジェクト 全体イメージ

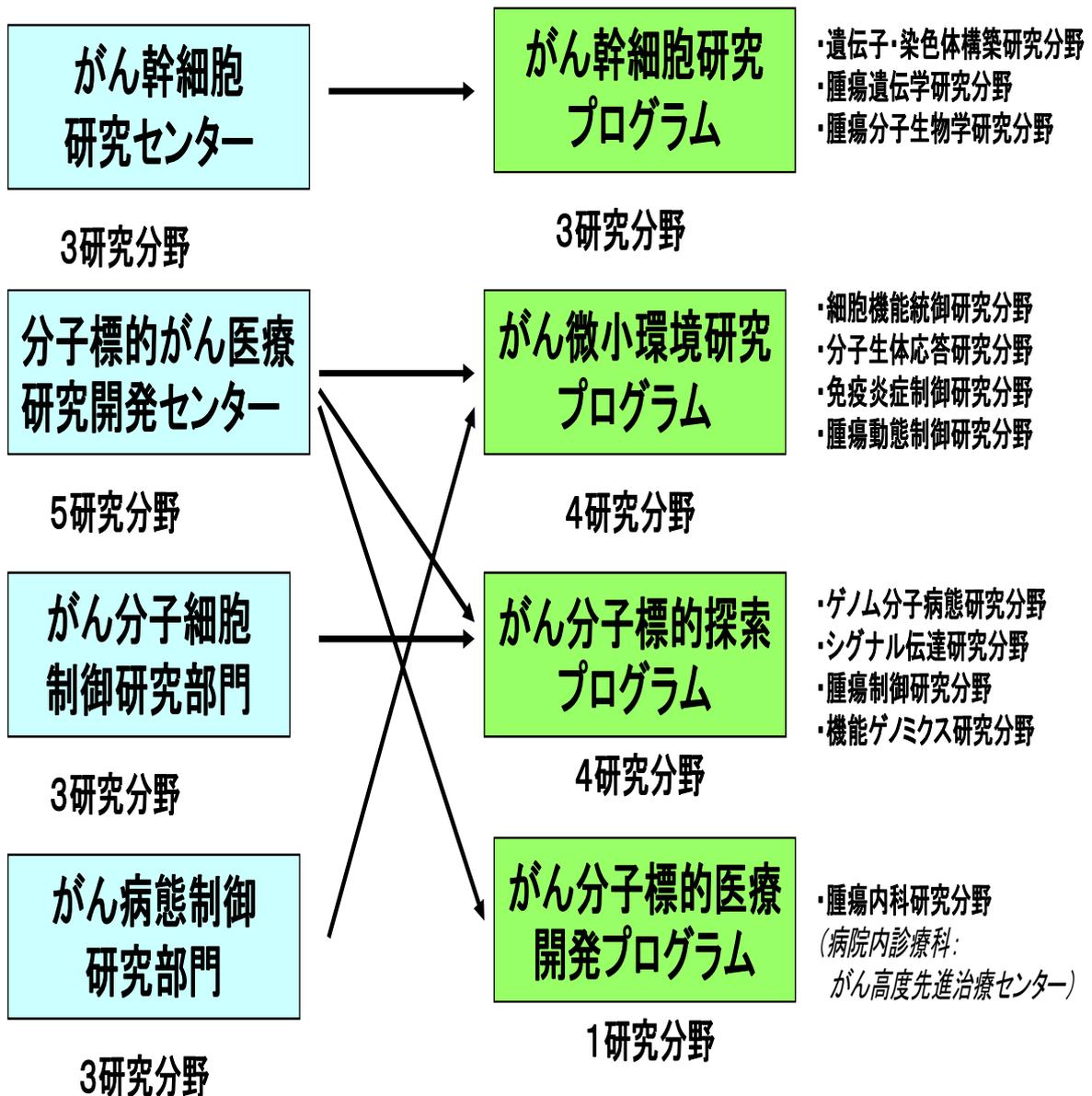


金沢大学アジア人財育成プロジェクト本格始動！

金沢大学がん研究所の改組案

現 状 (14分野)

改組案(12分野)



(出典：宝町地区事務部薬学・がん研究所事務室資料)

資料 2 1 - 1 金沢大学における特任教員制度概要

FSO NEWS LETTER VOL. 2 KANAZAWA UNIVERSITY OCTOBER 2007

FSO NEWS LETTER vol. 2, 2007

FSO News Letter 第2号をお届けします。今回は、金沢大学におけるテニユア・トラック制度と科学技術振興調整費について紹介します。

テニユア・トラック制度

前回、テニユア・トラック制度について簡単に説明しましたが、今回はもう少し詳しくテニユア・トラック(以後TT)について説明します。

テニユアとは？

皆さんすでにご存知と思いますが、テニユアとは終身在職権のことを言います。TTを日本語にすると終身在職への道とでもなるのでしょうか。この制度のねらいは、一定期間(概ね5年)若手研究者に研究に専念できる環境を提供し、その間に優れた業績をあげた研究者を上位のテニユア職に昇任させるシステムです。しかし、研究分野によっては5年間で成果を上げることが難しい分野もあります。そのような理由から、金沢大学ではすべての部局で導入しているわけではありません。

金沢大学におけるTT制度

現在金沢大学には2つのTT制度があります(図1)。

1. 特任教員TT(准教授・助教)
2. 助教TT

1. 特任教員TT(FSO所属)

現在FSOが行っているのが、特任教員TTです。今年度5月に特任准教授を1名採用し、10月からは4名の特任准教授と3名の特任助教を採用する予定です。10月採用予定の7名に関する経費は、文部科学省科学技術振興調整費(科振費)の「若手研究者の自立的な研究環境支援促進」に採択された「新領域創成を目指す若手研究者育成特任制度」の費用を使用します。

FSOの特任教員に採用されると、准教授の場合総額3000万円/年、助教の場合、研究費300万円/年と外国出張経費などの助成を受けられます。3年後に中間評

価が課され、それによって4年目以降の研究費が決まります。最終年に昇任審査を経て准教授→教授、あるいは助教→准教授へ昇任し、テニユアを獲得します。審査は厳格に行われ、昇任が認められなかった場合、准教授→准教授あるいは助教→助教ということにはならず、金沢大学に残ることはできません。

特任教員には将来金沢大学において先端科学のリーダーとして活躍することが期待されています。

2. 助教TT(部局所属)

部局所属の助教TT制度は若手研究者の自立的、競争的な研究環境の整備を目的に平成19年度から導入されました。現在医学系研究科、薬学部が助教TT制度による人選を進めています。4月に第1回の募集があり、9月に第2回の募集を行います。

部局所属の助教に採用されると、大学がスタートアップ資金として初年度に300万円、2年目以降は研究費として200万円を支給します。研究に専念できるように部局が授業などに配慮し、研究スペースを確保します。また、助言者(メンター)の配置も行います。

導入した部局等には初年度150万円、2年目以降年50万円の支援経費が大学から配分されます。

選考は公募で行い雇用5年後に行われる厳正な審査にパスすれば、准教授に昇任できます。

どちらの制度も、国立大学法人等に在職している人が採用となった場合、退職した後に改めて雇用することになります。

これらの制度は若手研究者の研究環境整備を目的としています。充実した環境の中で優れた研究が生まれることが期待されています。

(出典：フロンティアサイエンス機構ニュースレター vol2)

資料 2 1 - 2 フロティアサイエンス機構における特任教員の外部資金獲得状況一覧

職名	区分	H19		H20		H21		合計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
特任准教授 (5人)	科学研究費補助金	1	1,360	4	9,077	7	32,499	12	42,936
	その他の外部資金	1	4,940	11	37,920	7	70,457	19	113,317
小計		2	6,300	15	46,997	14	102,956	31	156,253
特任助教 (3人)	科学研究費補助金		0	3	6,440	3	5,070	6	11,510
	その他の外部資金		0	3	4,000	7	12,700	10	16,700
小計		0	0	6	10,440	10	17,770	16	28,210
合計		2	6,300	21	57,437	24	120,726	47	184,463

(出典：学術国際課データを基に作成)

資料 2 1 - 3 フロティアサイエンス機構における特任教員の受賞状況一覧

	受賞年月	受賞名	表彰団体
特任准教授	平成20年 3月	平成19年度 高木賞	未踏科学技術協会
特任助教	平成20年10月	第10回AJINOMOTO Award 最優秀研究	日本肝臓学会
特任准教授	平成20年12月	第4回若手奨励賞	日本生物物理学会
特任准教授	平成21年 9月	平成20年度日本鉱物科学会論文賞	日本鉱物科学会

(出典：学術国際課データを基に作成)

資料 22-1 研究紹介データベース

● 検索画面

研究紹介データベース
本データベースは、本学に所属する教員の研究活動を広く社会に公開するものです。キーワード検索を行うことにより、お探しのキーワード(氏名、専門分野、研究課題など)にマッチする教員のページが探し出せます。

国立大学連合
本学、富山大学、福井大学、北陸科学技術大学院大学は我が国の高等教育と学

キーワード検索

キーワード: AND検索 OR検索

検索対象: 氏名 専門分野・キーワード 研究課題名 すべて

キーワード検索について

- 複数のキーワードを入力して検索する場合は、キーワード間にスペースを入れてください。
AND検索: 全てのキーワードを含む
OR検索: いずれかのキーワードを含む
- 検索対象を指定すると、指定した項目の中で、キーワード検索を行います。

● 個人業績画面

教育分野	理工学域 物質化学類 応用化学コース
大学院	自然科学研究科 物質科学専攻
所属組織	理工研究域 物質化学系
専門分野・キーワード	超分子化学、高分子複合材料、高分子合成
所属学協会	シクロデキストリン学会、高分子学会、日本化学会、アメリカ化学会

新規環状分子"Pillar[5]arene"の創成



カリックスアレーンは、構成単位がメタ位でメチレン結合により連結したカブ構造の環状ホスト分子である。その中で我々は、p-Dimethoxybenzene(DMB)とアルデヒドとの反応を行った。その結果、ユニットが2,5位でメチレン結合によって連結した、対称性の高い柱状(Pillar)の新規な環状物であるPillar[5]areneを得ることができた。

〈関連著書・論文〉

- Lewis Acid Catalyzed Synthesis of Dodecamethoxycalix[4]arene from 1,3,5-Trimethoxybenzene and Its Conformational Behavior and Host-Guest Property. *Tetrahedron* 2009, 65, 10644-10649.
- Synthesis and Conformational Characteristics of Nonsymmetric Pillar[5]arene *Org. Lett.*, 12, 3, 636-638.
- Through-Space π -Delocalized Pillar[5]arene. *Chemical Communications*. 32, 4874-4876. 2009.

(出典：金沢大学ホームページ：http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/souran_ku/)

資料22-2 金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム実施状況

<平成20年度(第1回)>

実施日	タイトル	開催地	参加者数
平成21年1月24日	「病気を予防するための食と運動と環境」 (医薬保健研究域)	金沢市	約330人
平成21年1月31日	「地球温暖化問題を含めた俯瞰的な環境問題へのアプローチ」 (理工研究域)	金沢市	約520人
平成21年2月7日	「交響する文化化学－異文化接触と新文化創出のために－」 (人間社会研究域)	金沢市	約400人
平成21年2月8日	「輝ける能登，未来に向けて」 (人間社会研究域)	輪島市	約100人

<平成21年度(第2回)>

実施日	タイトル	開催地	参加者数
平成22年2月6日	「人と環境の交わりを考える～能登半島，東アジア，そして世界～」	東京都	約460人

(出典：金沢大学ホームページ等を基に作成)

資料 23-1 がん研究所外部評価実施状況

外部評価の経過

平成 20 年 5 月 12 日、第 414 回がん研究所教授会

佐藤 博 がん研究所所長より、平成 18 年度のがん研究所改組後の進捗状況の評価と現在進められている国立大学法人附置研究所の再編に即した研究所の将来構想に対する助言を得る目的で、平成 20 年度中に外部評価を実施することが提案され、了承された。

平成 20 年 6 月

外部評価委員への評価の依頼状の送付

平成 20 年 7 月

分野評価委員への評価資料の送付

記) 分野評価資料リスト

1. 金沢大学がん研究所概要 (平成 20 年度版)
2. 分野別評価資料 (2001～2007 年)
3. がん研究所セミナー報告書

平成 20 年 9 月

分野評価委員からの評価報告書の受領

平成 20 年 10 月

全体評価委員への評価資料の送付

記) 全体評価資料リスト

1. 金沢大学がん研究所概要 (平成 20 年度版)
2. 現況分析
3. 教員移動状況
4. 分野別評価報告書
5. 分野別評価資料 (2001～2007 年)
6. がん研究所セミナー報告書
7. シンポジウム等開催状況 (2001～2007 年)
8. 将来構想

平成 20 年 11 月 26 日

全体評価委員のご臨席を得て、金沢大学がん研究所がん幹細胞研究センター・分子標的がん医療研究開発センター合同シンポジウム『がん幹細胞研究を基盤とした分子標的がん医療を目指して』を開催。

平成 20 年 11 月 27 日

全体評価委員のご臨席を得て、外部評価懇談会を開催。

平成 21 年 1 月

全体評価委員からの評価報告書の受領

平成 21 年 3 月

2008 年度金沢大学がん研究所外部評価報告書を刊行

(出典：がん研究所外部評価報告書2008)

資料 23-2 学際科学実験センター外部評価実施状況

第2回金沢大学学際科学実験センター外部評価発表会

日 時 平成21年12月22日(火) 13:00より

場 所 学際科学実験センター アイソトープ総合研究施設 1階 会議室

プログラム

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 13:00-13:10 | 学際科学実験センターの紹介(浅野) |
| 13:10-13:55 | ゲノム機能解析分野(西内, 西山) |
| 13:55-15:10 | 遺伝子改変動物分野(浅野, 橋本, 成瀬, 神村) |
| 15:10-15:30 | (休憩) |
| 15:30-16:15 | トレーサー情報解析分野(柴, 北村) |
| 16:15-16:30 | アイソトープ理工系研究施設(中西) |
| 16:30-16:55 | 機器分析分野(石橋, 内山) |
| 17:00-17:30 | 評価委員の先生による講評 |
| 17:30-18:30 | 施設見学 |

(出典:学際科学実験センター外部評価報告書)

資料23-3 大学教育開発・支援センター外部評価実施状況

金沢大学大学教育開発・支援センター外部評価懇談会

日時：平成22年2月27日（土）15時～19時

会場：金沢スカイホテル会議室

出席者：

外部評価委員

- 小笠原 正明（筑波大学教育推進部特任教授、大学教育学会会長）
- 鹿野 勝彦（小松短期大学学長、金沢大学前副学長）
- 柴田 正良（金沢大学人間社会研究域教授）
- 羽田 貴史（東北大学高等教育開発推進センター教授）
- 前田 早苗（千葉大学普遍教育センター教授）
- 山崎 光悦（金沢大学理工研究域教授）

大学教育開発・支援センター教員

- 西山 宣昭（大学教育研究開発部門、副センター長）
- 堀井 祐介（評価システム研究部門）
- 渡辺 達雄（評価システム研究部門）
- 青野 透（教育支援システム研究部門、センター長）
- 山田 政寛（教育支援システム研究部門）

配布資料

1. 金沢大学大学教育開発・支援センター自己点検評価報告書
（平成15年度～平成20年度）
2. センター自己点検評価の経緯と今後の予定
3. 金沢大学憲章
4. 金沢大学におけるFD活動指針
5. 金沢大学大学教育開発・支援センター規程
6. センターパンフレット
7. TESKライブラリー1, 2, 3

（出典：大学教育開発・支援センター資料）

資料23-4 フロンティアサイエンス機構アドバイザーボード委員会実施状況

・金沢大学の研究戦略・国際戦略について
・平成21年度重点戦略経費採択課題の活動報告
・平成21年度 FSO IT 特任教員の活動報告

学内公開で行います。金沢大学が支援をしている
 研究プロジェクトがすべて発表いたします。
 ぜひ、ご参加ください。

**角間キャンパス
 本部長6階
 大会議室**

問い合わせ：フロンティアサイエンス機構
 リサーチアドミニストレーションオフィス
 e-Mail: fsojimu@adm.kanazawa-u.ac.jp
 tel: 角間 5266

平成21年度
 フロンティアサイエンス機構
 アドバイザリーボード委員会
 2010年3月4日(木)
 10:30-16:05

プログラム

10:30-10:35	挨拶 理事(研究・国際担当) 長野 勇
10:35-11:00	金沢大学の研究戦略、国際戦略について(仮)
11:00-11:15	医薬保健研究/医学系 教授 金子 周一(代理:重俊成 准教授) 栄養による巨腸症の発症と、その制御に関する研究
11:15-11:30	がん研究所 教授 大島 正伸 がん細胞の未分化性維持機構と微小環境の作用の解明
11:30-11:45	環日本海地帯環境研究センター 教授 中村 浩二 「熊鷹半島 教育研究オペレーション・ユニット」の構築
11:45-12:00	医薬保健研究/保健学系 川井 恵一 健康増進支援効果の検証に用いる健康状態評価法確立への 高度医療技術をもとにした生体機能解析法の応用と高度化
12:00-12:15	理工研究/電子情報学系 山田 実 マイクロ波から光領域での物理探査とデバイス開発
12:15-13:15	休憩
13:15-13:30	医薬保健研究/地域医学系 教授 東田 隆博 発達・学習・記憶と睡眠の革新神経科学の創成:文理架橋研究による熟睡の第一ステージ
13:30-13:45	フロンティアサイエンス機構 岩坂 泰信 環日本海地域に広がる土地・海・環境の環
13:45-14:00	理工研究/環自然システム学系 荒井 暲司(代理:海野進 教授) 「新しい海洋産地球科学」の拠点形成を目指して
14:00-14:15	理工研究/数物科学系 教授 安藤 敏夫 知と核の融合する先進生命工学の拠点形成
14:15-14:45	休憩 ポスターセッション(FSO ティアートルラック)の活動報告 特任准教授 福岡 剛士, 井上 隆, 森下 知晃, Richard Wong, 佐藤 純 特任助教 塚家 慎一, 太田 勇人, 松本 篤
14:45-15:00	理工研究/環自然システム学系 教授 程 耀 哺乳類脳日時計細胞で時刻特異的に誘導される遺伝子プロモータの構造と 機能の生物学的・情知学的解析
15:00-15:15	医薬保健研究/薬学系 教授 玉井 郁巳 生体機能イメージング技術のターゲットディンク個別化医療への展開 -医療理工連携による融合医科学の創出-
15:15-15:30	がん研究所 教授 松本 邦夫 がん医学・工学テクノロジー連携によるがん分子標的治療法開発のための拠点形成
15:30-15:45	環日本海地帯環境研究センター 助教 仁宮 一肇 21世紀を支える新自然エネルギー利用に向けた分野横断的研究
15:45-16:00	人間社会研究/歴史言語文化学系 教授 中村 慎一 文化遺産学の世界的教育研究拠点形成:教育研究と地域・国際貢献の融合
16:00-16:05	挨拶 学長 中村 信一

(出典：平成21年度アドバイザーボード委員会開催案内)

資料 24-1 平成 21 年度重点戦略経費配分等一覧

種目	目的	申請上限額・ 研究期間	申請 件数	採択 件数	配分額 (千円)
(1) 中核的教育研究拠点形成					
一般募集	平成20年度から継続		4	4	9,000
戦略支援	平成20年度から継続		5	5	20,000
学際・ 複合・ 新領域	中核的教育研究拠点形成(特に、学際・複合・新領域の形成)を目指すこと	300万円以内/年 採択の日～平成23年3月31日	6	5	10,000
(2) 科研費採択支援					
	大型・中型の科研費採択に近いレベルの研究を重点的に支援し、翌年度の科研費採択につなげること	200万円以内又は100万円以内 採択の日～平成22年3月31日	46	19	20,150
	若手研究者を対象に、科研費採択に近いレベルの研究を重点的に支援し、翌年度の科研費採択につなげること	50万円以内 採択の日～平成22年3月31日	43	32	15,750
(3) 海外共同研究					
	海外の交流協定校との研究交流を促進するとともに、新規の交流協定の締結のための研究交流の支援	80万円以内 採択の日～平成22年3月31日	23	14	7,700
(4) 女性研究者支援					
	研究と出産・育児等を両立して研究活動を行う女性研究者の支援	60万円以内 採択の日～平成22年3月31日	8	4	2,394
合計			135	83	84,994

(出典：学術国際課データを基に作成)

資料 24-2 平成 21 年度プロジェクト事業支援経費配分一覧

区分	配分件数	配分額(千円)
特別教育研究経費	14	165,424
補助金事業	4	24,794
その他	1	5,000
合計	19	195,218

(出典：財務企画課データを基に作成)

資料 25-1 平成 21 年度インセンティブ付与事業費部局配分額一覧
(単位：円)

部 局 名	配 分 額
人間社会学域・研究域	2,188,000
理工学域・研究域	14,870,000
医薬保健学域・研究域	14,145,000
附属病院	2,023,000
がん研究所	3,852,000
保健管理センター	70,000
学際科学実験センター	291,000
総合メディア基盤センター	225,000
留学生センター	50,000
外国語教育研究センター	50,000
大学教育開発・支援センター	39,000
環境保全センター	27,000
環日本海域環境研究センター	651,000
フロンティアサイエンス機構	1,373,000
子どものこころの発達研究センター	86,000
地域連携推進センター	27,000
イノベーション創成センター	33,000
合 計	40,000,000

(出典：財務企画課データを基に作成)

資料 25-2 平成 21 年度自然科学研究科予算配分方針等

① 予算配分方針(抜粋)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤研究経費 基礎分と重点分に分け(7:3の比率)配分単価を算出し、下記の区分により各研究系に配分する。なお、重点分は自然科学研究科博士後期課程の主任指導教員に対し学生数に応じて配分を行う。 (1) 基礎分 平成21年5月1日現在の現員数に基づき、各研究系に均等配分する。ただし、薬学系については平成21年度における雇用上限数により配分を行う。 (2) 重点分 平成21年5月1日現在の学生現員数に基づき、理工研究域ならびに医薬・保健研究域(薬学系)に所属する自然科学研究科博士後期課程の主任指導教員へ配分する。
--

② 基盤研究経費 配分額一覧

(単位：円)

区 分	基 礎 分	重 点 分
理工研究域	81,844,000	30,600,000
数物科学系	14,852,000	4,950,000
物質化学系	12,324,000	2,025,000
機械工学系	17,696,000	4,725,000
電子情報学系	13,588,000	4,500,000
環境デザイン学系	9,796,000	8,100,000
自然システム学系	13,588,000	6,300,000
医薬保健研究域	17,064,000	13,725,000
薬学系	17,064,000	13,725,000
合 計	98,908,000	44,325,000

(出典：角間南地区事務部会計課データを基に作成)

資料26-1 電子ジャーナル整備状況

年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
タイトル数	1,471	2,885	4,919	5,375	5,767	6,619

(出典：情報企画課データを基に作成)

資料26-2 学術情報基盤整備計画について

金沢大学学術情報基盤整備計画について

1. 金沢大学学術情報基盤整備計画策定の経緯

法人移行後、部局配分予算(基盤研究費)の削減により、学術雑誌の購読中止が相次いだ。このため、冊子体の購読規模維持を前提とするパッケージ型電子ジャーナル(以下EJ)の購読が困難となり、本学の研究大学としての学術情報基盤が危機的状況となった。

これに対処するため「EJの整備方策に関する作業部会」を設置し、EJ整備の基本計画として、学術情報基盤整備計画を取りまとめた。

さらに、第2期中期目標・中期計画期間においても引き続き学術情報基盤を維持するため、平成21年度に見直しを行ったものである。

2. 整備計画の基本的な考え方

全学的に利用されるEJは「金沢大学特別整備事業費」及び「共通経費化した部局経費」で購読し、複数年契約(3年間)により安定的に供給する。

3. 整備計画の効果

電子媒体への移行(紙媒体の廃止)と予算の効率的運用を促進し、雑誌購読料の総額を計画当初程度に抑えながら、購読EJタイトル数を、1,471(H16)から6,619(H21)に増加させた。また、EJバックナンバー及び主要な研究用文献データベースを併せて導入し、研究大学として必須の学術情報基盤を整備した。

4. 第2期中期目標・中期計画期間の整備計画の骨子

第2期中期目標・中期計画期間(平成22年～平成27年)において、学術情報を安定的に提供するため、以下の内容を骨子とする新たな学術情報基盤整備計画を平成21年度に策定した。

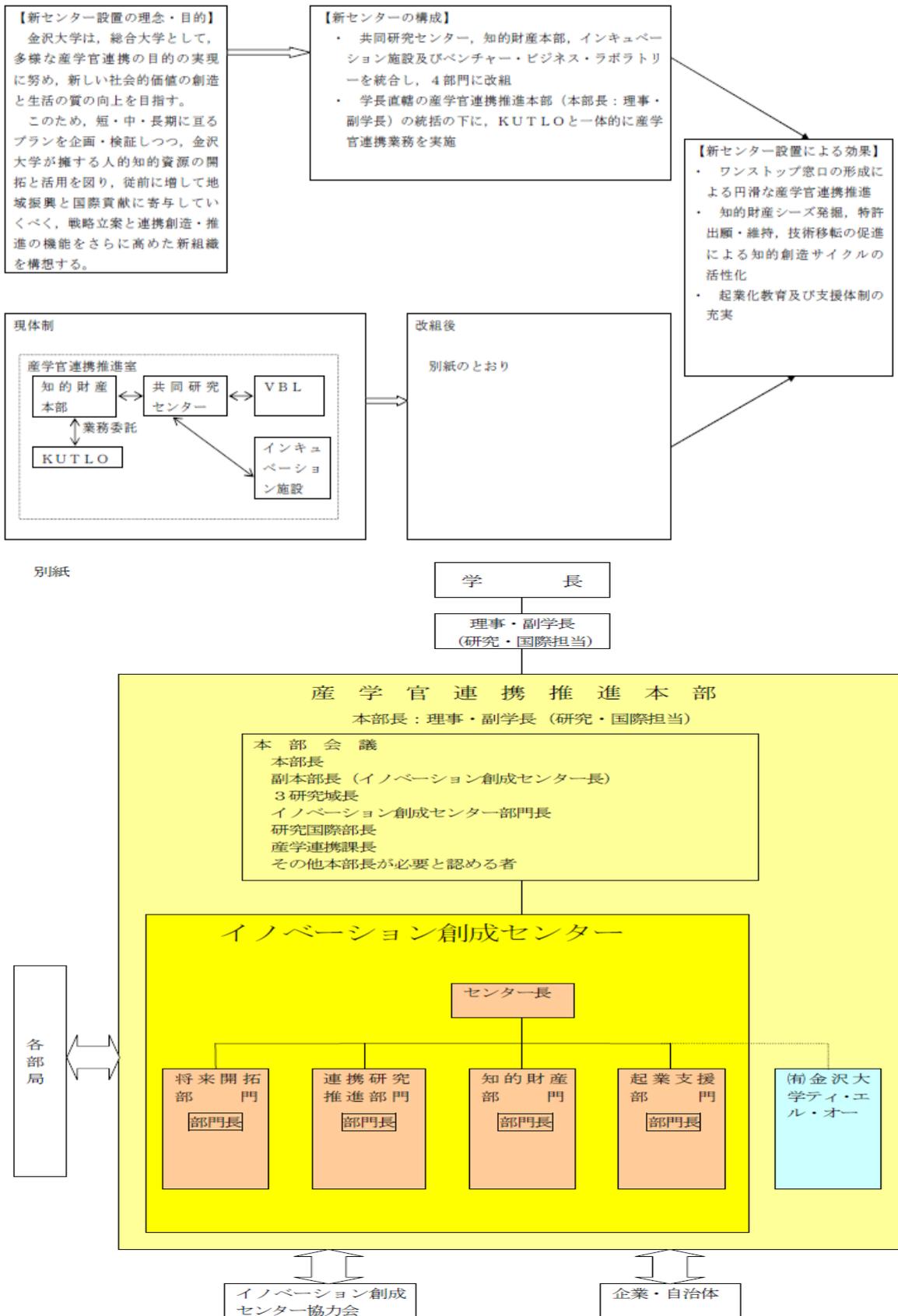
① 部局経費(基盤研究費)の負担額を平成21年度実績に固定し、受益者負担の軽減を実現する。

② 第2期中期目標・中期計画期間における価格上昇分は、「金沢大学特別整備事業」によって負担し、学術情報の安定供給を図る。

③ 研究大学として必須のEJ(Nature関連誌等)を追加して導入し、本学の学術情報基盤をさらに強化する。

(出典：情報企画課資料)

資料27-1 イノベーション創成センターの概要



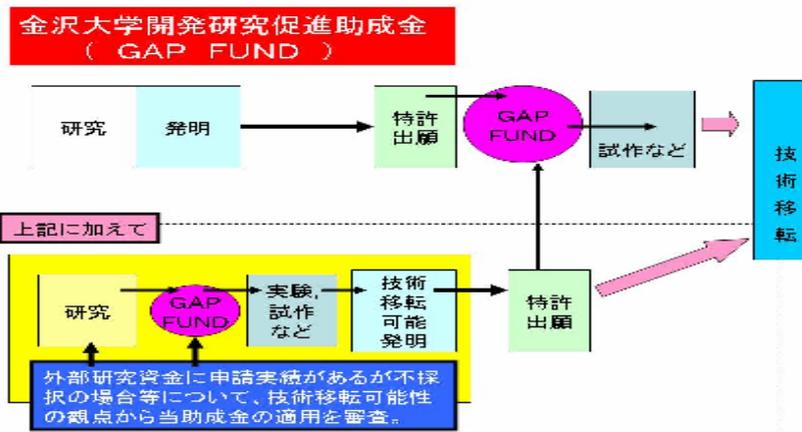
(出典：産学連携課資料)

資料 27-2 開発研究促進助成金の概要

開発研究促進助成金(通称「ギャップ・ファンド(GAP FUND)」)
 開発研究促進助成金(通称「ギャップ・ファンド(GAP FUND)」)についての説明です。

○ 開発研究促進助成金(通称「ギャップ・ファンド(GAP FUND)」)について

開発研究促進助成金は、本学教職員の発明(技術移転が可能となる発明に結びつくための実験、試作品の製作を含む。)について、試作品等のわかりやすい形にすることにより、技術移転を進めることを目的として、金沢大学が平成17年度に創設した助成金です。
 この助成金は、研究者の申請を基に、産学官連携コーディネーター、学外有識者で構成する開発研究促進助成金選定委員会で内容の審議を行い交付の決定をします。



(出典：金沢大学ホームページ：
<http://www.innov.kanazawa-u.ac.jp/article.php/20080922161951779>)

資料 27-3 パテントセミナー開催案内

(出典：金沢大学ホームページ：
<http://www.innov.kanazawa-u.ac.jp/chizai/article.php/20090520121952915>)

資料27-4 発明評価票

知的財産 部門長	産学連携課	案件 担当者
		承認者

発明評価票

作成日 _____

1 発明の情報 (発明届出番号、発明届出時の名称、発明者名等の情報を記入し、及び30条適用の場合は、当該欄に○を記入する。)

受付番号	特 200 -	出願番号	技術分野 ^(*)
名称		出願形態	単独 / 共同 () 30条適用

(*) 技術分野コード：a. ラフカテゴリ、b. 情報通信、c. 環境、d. ナノテクノロジー、材料、e. その他 のいずれかを記入する。

2 評価時期及び目的 (適切なものを選択して、○で囲む。)

出願時 ^(*)	審査請求	中間評価	特許査定・登録	権利維持(年数)
JST申請 (PCT出願)	PCT出願 (JST本邦特)	各国移行	その他()	

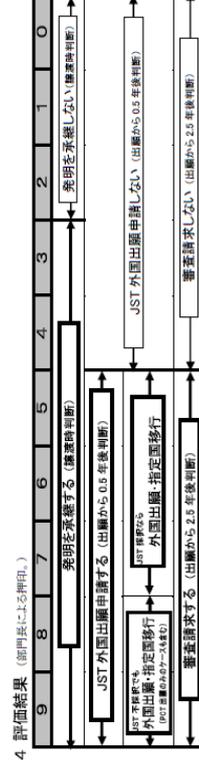
(*) 出願時評価については、「発明届出書の受理から選別以内」に、技術移転会議の結果を反映させた「発明評価票」を提出する。この評価票は、案件の「業績評価票」として取り扱う。

3 評価内容 (適切なものを選択して、所在の欄に○を記入する。)

項目	評価点3	評価点2	評価点1	評価点0
特許性	発明成立性 新規性 進歩性 あり	発明成立性 新規性 進歩性 あり	発明成立性 新規性 進歩性 あり	発明成立性なし
権利価値	基本特許、特許権 ・回避不可能 (例: 新規の物質、化合物、デバイス、方法等)	代替技術が少ない ・産業界での実施可能性が高い	代替技術が多い ・産業界での実施可能性はある	回避容易 ・産業界での実施可能性が低い
市場環境	大	中	小	見込みなし
請求項案				
その他 (特別な理由)				
合計				点

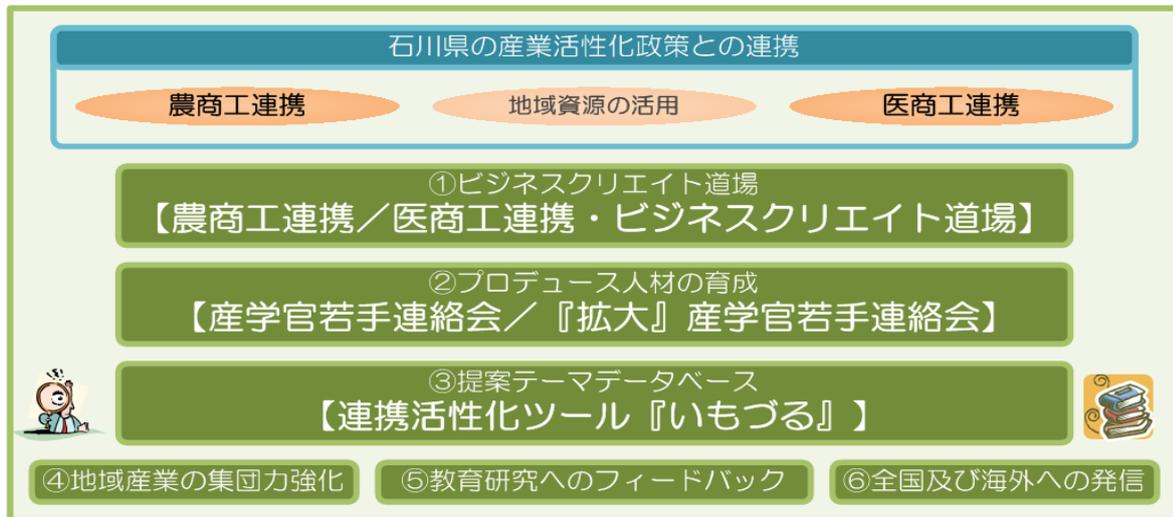
(補足) 先行例調査について (検索に使用したキーワード及び特許検索ツール名を記入する。)

キーワード	
検索ツール	



資料28 「産学官連携戦略展開事業」概要

大学等産学官連携自立化促進プログラム (機能強化支援型)
(産学官連携戦略展開事業(戦略展開プログラム)から平成22年度より移行)



地域イノベーションの創出

産学官連携による新産業創出などで地域活性化を目指す



(出典：大学等産学官連携自立化促進プログラム中間報告書)

資料 29-1 金沢市との連携協定の概要

締結日	連携内容	連携推進会議開催状況		
21. 3. 27	①まちづくり ②産業の活性化 ③教育や人材の育成・交流 ④歴史遺産の保存, 芸術文化の振興 ⑤環境保全 ⑥国際交流の推進 ⑦健康・福祉・医療の充実 ⑧コミュニティ活動の推進 ⑨防災対策の充実 ⑩その他双方が必要と認める事項	第1回	21. 7. 22	平成21年度連携プロジェクト(案)について
		第2回	22. 1. 19	平成21年度連携プロジェクトの取組状況について

(出典:総務課データを基に作成)

資料 29-2 石川県との連携協定の概要

締結日	連携内容	連携推進会議開催状況		
21. 4. 23	①教育・文化 ②保健医療・福祉 ③環境 ④産業・科学技術 ⑤観光 ⑥その他の分野	第1回	21. 4. 23	・ 包括連携協定について ・ 県と大学の連携事業について

(出典:総務課データを基に作成)

資料 29-3 石川県からの寄附講座の概要

締結日	事業内容	設置期間
21. 4. 23	①地域の医療ニーズに係る研究 ②地域の医療機関の連携に係る研究 ③在学中における地域医療の魅力を学ぶ教育に係る研究 ④卒業後における地域医療を担うリーダー養成に係る研究 ⑤教育指導体制のあり方に係る研究	平成21年度～23年度

(出典:総務課データを基に作成)

資料 29-4 石引よろず保健室における取組み

(北國新聞3月26日朝刊で紹介されました。)

保健室ではこのたび、住民のみなさまにお手伝いいただくサポーターの募集を始めるにあたり、今年度最後の行事として、サポーター養成講座を開講しました。

さる3月25日(木)、第1期生8名のかたが計4回のカリキュラムを修了し、晴れて「保健室サポーター」に認定されました。

保健室サポーター第1期生は、近隣にお住まいの方々や本学の学生など、幅広い年齢層の個性ゆたかなメンバーで、4月から少しずつ保健室の活動に参加していただく予定です。

(写真 右:認定書を手に第1期サポーターのみなさん)



カリキュラムの準備や運営には、金沢大学医薬保健研究域の教員だけでなく、お年寄り地域福祉支援センターとびうめのかた、地域にお住まいの有識者(医療、教育関係者)にもプロジェクトメンバーとして加わっていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

(写真 左:プロジェクト委員による講義)

保健室スタッフも4月より新しいメンバーを迎え、ますます活動に磨きをかけてまいりますので、みなさま是非お立ち寄りください!

(出典:金沢大学ホームページ: http://www.well-pro.jp/contz/pages/20100331_0001.shtml)

資料30-1 地域連携推進センターの概要

金沢大学地域連携推進センターについて

金沢大学は、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」として「教育」と「研究」、「社会貢献」を使命としています。金沢大学は、この使命を達成することを通じて21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に寄与することを目指しています。

金沢大学地域連携推進センターは、上記の3つの使命のうち社会貢献を担う役割を期待されています。そのために、大学の有する人的・物的資源を活用し、地域社会との連携を推進します。金沢大学の地域連携事業では、総合大学にふさわしいグローバルな視点を持ちながら地域の課題解決に取り組んでいます。こうした目的を達成するために、金沢大学地域連携推進センターは、大学教育開放センターと社会貢献室を統合して、平成20年4月1日に設置されました。

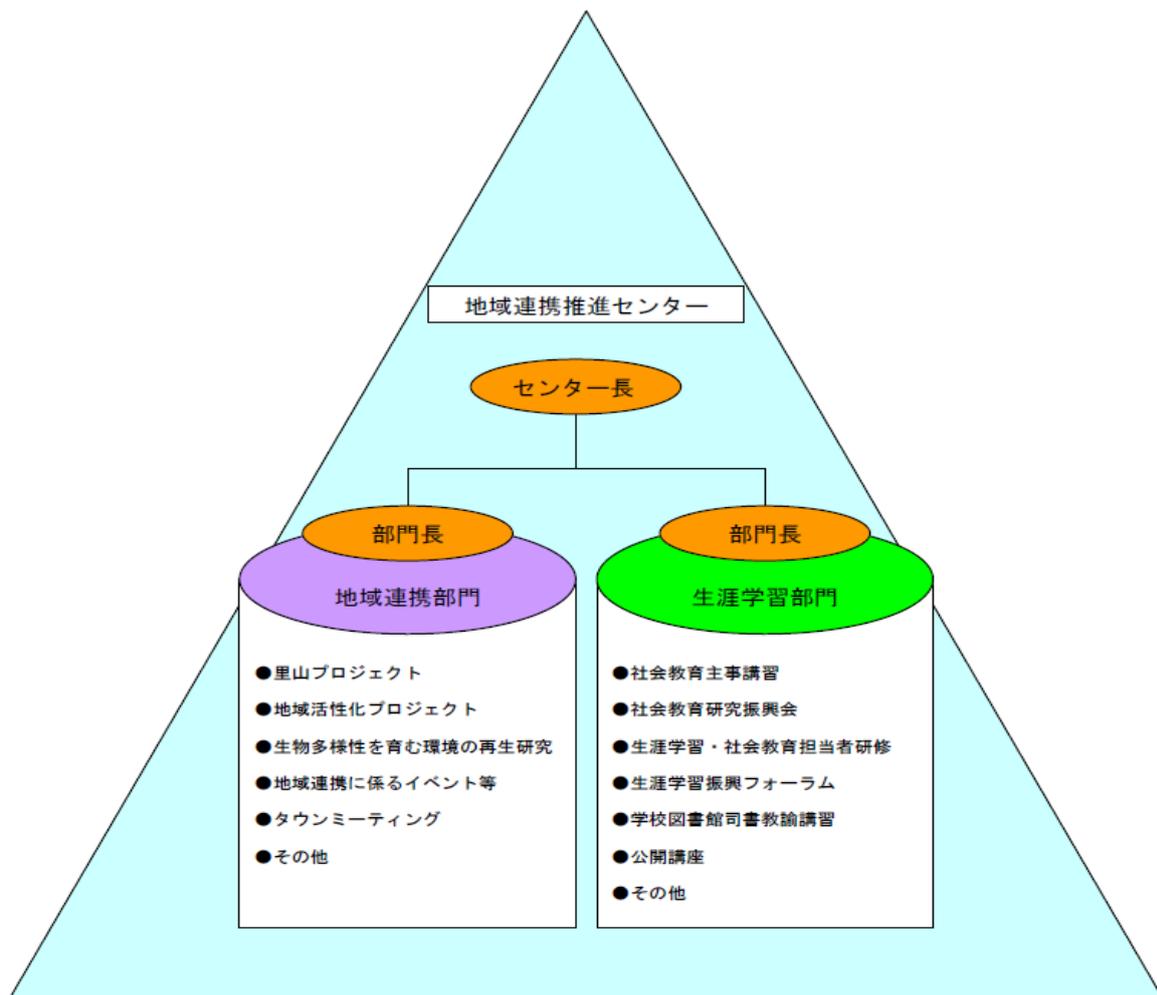
地域連携推進センターは、生涯学習部門と地域連携部門の2部門で構成されています。

・ 生涯学習部門

本学における市民の生涯学習支援の中核部門として、公開講座、講習及びセミナーを企画・運営して、社会教育・生涯学習の振興を目的としています。

・ 地域連携部門

地域と本学の人的・物的資源を繋いで、地域社会との連携を通じ地域再生、地域課題の解決等について貢献することを目的としています。



(出典：金沢大学ホームページ：http://cr.lib.kanazawa-u.ac.jp/about/about.pdf)

資料 30-2 「能登里山マイスター」養成プログラム中間評価結果

(中間評価)

「能登里山マイスター」養成プログラム

(実施期間：平成 19～23 年度)

実施機関：金沢大学（代表者：中村 信一）
連携自治体：石川県、輪島市、珠洲市、能登町、穴水町

課題の概要

能登半島で生態学と環境保全型農業を 2 年間学ぶとともに実践し、一次産品に二次（加工）、三次（サブス）の付加価値をつける事業センスを身につけた人材、さらに、能登半島の優れた自然や里山里海の景観、文化資源を環境ブランドとしてグリーンツーリズムなどに展開していく人材の養成を目的とする。次世代のリーダーとなる 40 歳未満のチャレンジ組（再チャレンジやリターン者）と地域担い手組（農林業後継者、自治体職員）を対象とする。カリキュラムは 2 年間で編成し、常駐教員による担任制により指導にあたる。修了生は 1 期 15 人とし 3 年目で累計 30 人、5 年間で 60 人以上を想定、修了者には「里山マイスター」の称号を与え、プロジェクト期間終了後も金沢大学と自治体は協働して「能登学舎」を運営し、自然共生型の農村空間づくりと人材養成の拠点とする。

(1) 総合評価（所期の計画以上の取組が行われている）

石川県珠洲市の廃小学校を「能登学舎」として本プロジェクトの実施拠点として整備し、運営体制を構築することで、過疎化・高齢化が進む能登半島のサポート、再生に着実に取り組んでいける。また、本プロジェクトを成功に導く上で不可欠である自治体との連携においても、受講生への住居転徙が自治体が請け負うなど、協力体制が充実しており、高く評価できる。人材養成カリキュラムの見直し、改善も積極的に進められている点も高く評価できる。今後は金沢大学の学部生、大学院生の研究パワーを組み込むことも検討し、大学全体へと広く展開することを期待する。

<総合評価：A>

(2) 個別評価

①進捗状況

金沢大学と石川県立大学、珠洲市、輪島市、穴水町及び能登町において締結された「地域づくり連携協定」や金沢大学と石川県において締結された「包括連携協定」など、金沢大学と自治体との連携が進んでおり、拠点形成が進められている点は高く評価できる。また、カリキュラムの見直しや改善を積極的に進めている点も高く評価できる。今後は金沢大学の学部生、大学院生の研究パワーを組み込むことも検討し、大学全体へと広く展開することを期待する。

②拠点形成手法の妥当性

環境保全型農業実践者の養成を目指す本課題において、地域の廃小学校を「能登学舎」として活用し拠点性を確保・担保したとともに、能登地域が持つ生物多様性資源を活用したプラットフォーム作りとして広範な関係者によって密接な運営がされている点が評価できる。今後、修了者が地域再生に対して貢献する方策、及び金沢大学内部へ本課題を取り入れる方策について更なる検討を行うことを期待する。

③拠点形成の有効性

自治体を含め、協力研究機関やNPO法人、協力シンクタンク、地元企業等との様々な連携が生まれている点が高く評価できる。また、地域のシンボルとなる恒常的な拠点として「能登学舎」を持つことは有用性が高いと判断できる。ケーブルテレビやラジオ、新聞に数多く取り上げられるとともに、ケーブルテレビで公開講座を放映するなど、情報発信も積極的に進められており、石川県議会から環境省等の幅広い視察者を受け入れるなど波及効果も十分である。

④実施体制の妥当性

住居の転徙、就業支援など、被養成者への細かなサポートが自治体との共同で積極的に進められている点が評価される。今後、大学としての教育、研究との関連も視野に入れ、学部生、大学院生、教員との関わりを深めた実施体制の検討を期待する。

⑤今後の進め方

自治体を始めとし、協力研究機関やNPO法人、協力シンクタンク、地元企業等の広範な関係者による密接なプロジェクト運営が実施されており、所期の計画は達成したと評価できる。今後、更に総合大学としての金沢大学の知見を活かすとともに、本取組の大学内へも波及させていくことを期待する。

⑥継続性・発展性の見直し

大学の第 2 期中期計画に盛り込むなど、本課題終了後の継続についての具体的な見通しが得られている。今後、大学外のフアアンドも活用し、地域をあげて支援する体制作りをするともに、県や大学外からの支援方法について、更なる検討を期待する。また、能登への興味を醸成するという第一段階の目標は達成できていると判断されるが、より実践的な教育プログラムになるよう更に検討することを期待する。

(3) 評価結果

総合評価	進捗状況	拠点形成手法の妥当性	拠点形成の有効性	実施体制の妥当性	今後の進め方	継続性・発展性の見直し
A	a	b	a	b	b	b

資料3 1 - 1 平成20, 21年度特別展実施状況

<p>金沢大学資料館 展示活動の歩み 100周年記念</p>	<p>平成21年度(2009)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新歓展「金沢大学資料館へようこそ」平成20年4月6日～9月30日 ・特別展「彩往察来ー20年目の角間キャンパスから城内を想うー」 ・企画展「つくるーFine arts in Kanazawa University Museum」平成20年12月1日～平成21年3月10日 		<p>平成20年度(2008)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新歓展「金沢大学資料館へようこそ」平成20年4月7日～8月1日 ・特別展「うけつがれた「モノ」たちー明治・大正・昭和の掛図・模型ー」平成20年10月15日～11月14日 	<p>特別展限定 特設ページ「モノ」展?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「暁鳥敏と師範学校」平成20年12月8日～平成21年3月19日 	
--------------------------------	---------------------	--	--	---------------------	--	--------------------------	---	--

(出典：金沢大学ホームページ：http://muse.w3.kanazawa-u.ac.jp/exhibition.html)

資料3 1 - 2 「キンストレーキ」特別展示関連記事

金沢大学創設150周年記念事業

修復記念・資料館特別展示

キンストレーキ(人体解剖模型)

展示期間：4月1日(木)～6月24日(木) <期間終了を5月31日から延長>



キンストレーキとは、1822年に、フランスの解剖学者ルイ・トマゼローム・オズー(Louis Thomas Jérôme Auzoux 1797-1880)が開発した紙製の人体解剖模型のこと。16世紀に新解剖学が登場して以降、解剖可能な死体は慢性的に不足し、教育用の複製人体模型は高価なうえに手で触ることができないという欠点をもっていた。

この問題を解決するものとして登場したのが精巧な分解できる人体全身模型「キンストレーキ」で、19世紀ヨーロッパにおいて解剖学の教材として大きな力を発揮したといわれている。日本でも彼が製作したキンストレーキ数体が幕末に輸入されたが、当時は大変貴重で高価なものであったため、明治に入ると国産品も作られた。日本各地の医学校では、講義・実習の際にプレス解剖書とセットで使われて、明治後期まで日本の医学教育に多大な貢献をしたといわれる。

国内に現存するオズー一作のキンストレーキは、福井市立郷土歴史博物館の男女2体、長崎大学の男性1体、そして本金沢大学の男性1体の、合計4体だけである。本学のもは、1868(明治元元)年に黒川真安が加賀藩の命を受けて長崎で購入し、金沢医学館に置かれたもので、その系譜を引く本学医学部に伝えられて今日に至った。男性体中では黒川がよいとされたが、長い年月を経るなかで痛みがひどくなったため、2008-2009(平成20-21)年度に本学の特別事業費15,813千円の支援を受けて前美術院国宝修理所にて修理が行われ、2010(平成22)年3月、ほぼ元の姿に復元されて帰学した。このたびははその修復を記念して、角間キャンパスの本学資料館で特別展示を行い、その後、宝町キャンパスの医学部記念館1階の資料室に展される(6月前半の予定)。医学部記念館資料室は見学可能であるが特別な場合をのぞき原則一般公開されていないので、今回の特別展示はキンストレーキを直接目にする事ができる数少ないチャンスでもある。

なお、本学のキンストレーキは長年1840年モデルといわれてきたが、今回の修復に当たって行われた福天堂大学の月澤英代子准教授の調査により、1857年モデルと推定された。同モデルは約1700のラベル、92のパーツから成るとされるが、本体の現存ラベル数は1,551、パーツ数は88である(左眼全体と男性器の大半が失われている)。スコットランドのアディーン大学に、本体と同じモデルが現存している。

(出典：金沢大学ホームページ：http://muse.w3.kanazawa-u.ac.jp/kunst.pdf)

資料3 2 平成21年度「いしかわ金沢学」実施内容

開講月	コース名	内容
4月		
5月	春コース	「武道に見る心技体 日本武道入門」
6月	百万石踊り流し	第58回金沢百万石まつり百万石踊り流し（「いいね金沢賞」受賞）
	アシスタント養成プログラム	「伝統文化弟子入り講座」
	子ども伝統文化塾	金箔、茶道、加賀友禅、加賀水引コース開講
7月	奥能登コース	「祭り町並み食文化 奥能登コース」
8月	夏コース	「講義、体験、鑑能で学ぶ能楽入門」
	子ども体験塾	金箔、能楽、邦楽、和菓子・茶道、輪島塗コース開講
9月		
10月	いしかわの地酒学入門（～1月）	いしかわシティカレッジ開講科目「いしかわの地酒学入門」
11月	秋コース	「そば打ち体験」
12月	冬コース	「加賀友禅で染める日本の美」
1月		
2月	輪島塗コース	「輪島塗でめおと箸づくり」
3月	いしかわ金沢学シンポジウム	「地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域から学ぶ」

（出展：いしかわ金沢学文化体験学習プログラム平成21年度報告書を基に作成）

資料3 3-1 平成21年度ジョイントクラス開講状況

区分	授業科目名	受講者数	
		留学生	日本人学生
春学期 4月～	マスメディアと国際コミュニケーション	5	3
	セミナー：英語で読む現代日本文学	18	4
	現代日本の文化と社会	12	85
	日本人類学	3	2
	北米文化人類学	3	1
	ヨーロッパ生活論	2	4
	日本の言語と文化	19	30
	日本文化体験Ⅱ	29	9
	武道Ⅰ	1	9
	調査実習／留学生との合同言語・文化調査実習Ⅰ	8	22
秋学期 10月～	日本人の思想と文化	29	10
	文化比較（ディスカッションクラス）	31	11
	比較政治学	0	38
	日本政治外交論	0	23
	日本人類学	16	2
	環境をめぐる言説と文学	1	8
	調査実習／留学生との合同言語・文化調査実習Ⅱ	15	20

（出典：学務課データを基に作成）

資料3 3-2 平成21年度「国際交流月間」（5月）実施状況

実施日	タイトル（担当者）	実施日	タイトル（担当者）
7日（木）	ベトナム・カンボジア スタディツアーの報告 （石川県ユネスコ協会青年部）	20日（水）	ボリビアでの経験（JICA青年海外協力隊OG）
8日（金）	韓国人若者の価値観（本学教員）	21日（木）	ハンガリーの若者の価値観と文化（日研生）
11日（月）	中国人大学生（日研生）	22日（金）	討論会「若者の世界－自由と責任」（本学学生（日本人学生、留学生））
12日（火）	マンドリンクラブの紹介（マンドリンクラブ）		
13日（水）	北京師範大学への派遣留学を通じた様々な出会いと発見（本学学生）	25日（月）	韓国人大学生（KUSEP生、日研生）
	舞踊を通して見たインドの伝統文化（KUSEP生、日研生）	26日（火）	アメリカ人若者の価値観と文化（KUSEP生）
14日（木）	ミニ派遣留学説明会（本学教員職員）	27日（水）	大学の国際化のために（留学生センター長）
15日（金）	タイ人若者の価値観と文化（日研生）	28日（木）	地域と国際交流－地域国際交流活動への参加方法－（小松市国際交流協会事務局長他）
18日（月）	フィルハーモニー管弦楽団コンサート（フィルハーモニー管弦楽団）		
19日（火）		29日（金）	邂逅（金沢大学長）

（出典：大学教育開発・支援センターホームページ）

http://www.kanazawa-u.ac.jp/events/09/05/images/0905_pdf.pdf

資料 3 3 - 3 交流協定校等への(夏期)語学研修プログラム参加実績

単位:人

大学名	国名	種別	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度
タフツ大学	アメリカ	協定校	5	6	8	8	13	12
レーゲンスブルグ大学	ドイツ	協定校	18	22	14	16	31	16
北京師範大学	中国	協定校	/	/	/	13	6	/
北京語言大学	中国	協定校	/	/	/	/	/	10
ワシントン州立大学	アメリカ		/	/	/	7	9	21
エディンバラ大学	イギリス		/	/	3	13	5	2
ネピア大学	イギリス		/	/	3	0	0	/
ハワイ大学	アメリカ		/	/	/	/	/	2
モナシュ大学	オーストラリア		/	/	/	/	/	1
オルレアン大学	フランス		/	/	/	8	9	7
合 計			23	28	28	65	73	71

※語学科目（集中講義等）として開講している研修プログラムの参加実績である。

(出典：学務課データを基に作成)

資料34-1 国際協力機構（JICA）から依頼された国際協力事業

① 研修員の受入れ

年度	事業名	人数	国籍	受入期間
20年度	第36回日墨交流計画（国際保健薬学）研修コース	2	メキシコ	20.5.12～ 20.10.31
	平成20年度日系研修員	1	ブラジル	20.5.16～ 20.7.29
	平成20年度地域別研修「サブサハラアフリカ地域における学校運営改善」研修コース	11	ガーナ(2), エチオピア(2), ナイジェリア(1), マラウイ(3), ザンビア(2), スーダン(1)	20.9.10～ 20.10.12
21年度	平成21年度「サブサハラアフリカ地域における学校運営改善Ⅱ」研修コース	12	ガーナ(2), エチオピア(2), マラウイ(6), ザンビア(2)	21.9.8～ 21.10.17

② 専門家の派遣

年度	事業名	人数	国籍	派遣期間
20年度	タイ・酸性雨の管理戦略と削減手法（第三国研修）在外技術研修講師（政策実施と管理戦略・緩和策）	1	タイ	21.2.4～ 21.2.7
	地域別研修「サブ・サハラアフリカ地域における学校運営改善」フォローアップ調査に係る調査団員	1	ザンビア	21.3.1～ 21.3.12
	地域別研修「サブ・サハラアフリカ地域における学校運営改善」在外補完研修に係る調査団員	1	マラウイ ウガンダ	20.10.12～ 20.10.25

資料34-2 二国間事業共同研究

研究課題	相手国	機関名	研究期間
東アジアにおける多環芳香族炭化水素類の挙動と毒性	韓国	釜山大学校	21.7.1～ 23.6.30
大陸起源物質の大気圏を介した海洋への沈着：黄砂のふるまいに着目して	韓国	釜慶大学校	20.7.1～ 22.6.30
マントルから地殻への白金族元素の行方：フルイドと含水メルトの役割	フランス	ポールサバティエ大学	21.4.1～ 23.3.31

資料34-3 二国間交流事業

研究課題	相手国	機関名	研究期間
いじめ、虐待と発達障害の生物学的基礎の研究	ロシア	クラスノヤルスク医科大学	20.4.1～ 22.3.31
格子理論によるグルーオン場のトポロジーとクォークのカイラル対称性の研究	ドイツ	レーゲンスブルグ大学ほか	20.4.1～ 22.3.31
天然ゴムスモークシート製造に伴う環境汚染の現状評価と対策	タイ	ソクラーナカリン大学	18.6.1～ 21.5.31

資料34-4 アジア・アフリカ学術基盤形成事業

研究課題	相手国	機関名	研究期間
東アジアにおける汚染化学物質の研究と若手育成の国際拠点網の構築	中国 韓国	中国科学院大気物理研究所 釜慶大学校	20.4.1～ 23.3.31

(出典：すべて学術国際課データを基に作成)